

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

目次

準備する

撮影する

再生する

編集する

メニューで設定を変更する

困ったときは

その他



お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NXCAM

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

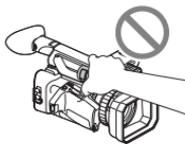
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。



レンズフード



液晶モニター



マイク(別売)または
マイクホルダー



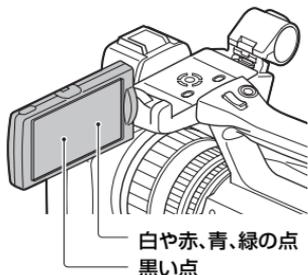
ファインダー

☝ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」(108ページ)もご覧ください。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機をご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

液晶モニター、レンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選ばせません)。
- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精度の高い技術で作られています。黒い点が残ったり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



太陽光についてのご注意

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部の部品が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結露すると、火災の原因となります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けしないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。

本機やバッテリーの温度について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターもしくはファインダーにメッセージが表示されます(98ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前のためにし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。

- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声乱了る場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調節することで現象が軽減されます(37ページ)。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。

本機で記録した画像をパソコンで扱うには

ソフトウェア「Catalyst Browse」をダウンロードしてください(18ページ)。

画像が正しく記録・再生されないときは[MEDIA FORMAT]してください

長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT](68ページ)を行ってください。

本機の実操作方法について

本機では、**▶/◀/▶/▶/SET** ボタン(70ページ)で操作できます。

NTSC(60i)/PAL(50i)の切り換えについて

本機には、信号方式(60i/50i)の切り換え機能はありません。

本書では、「60iのとき」と「50iのとき」の数値を併記しています。本機の方式は画面表示でご確認いただけます(13ページ)。

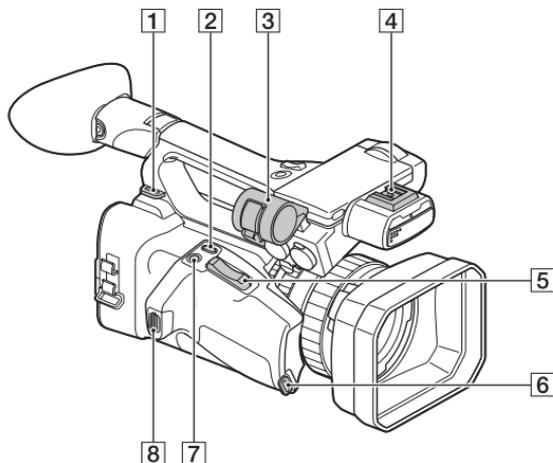
本書について

- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外觀は、予告なく変更することがあります。

各部のなまえ

本体

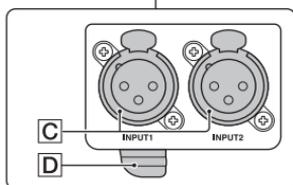
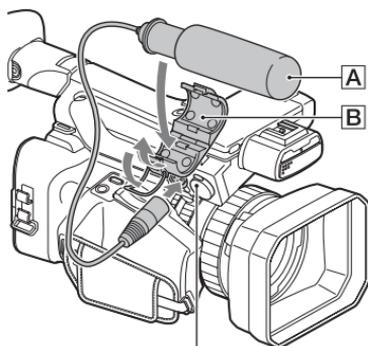
()内は参照ページです。



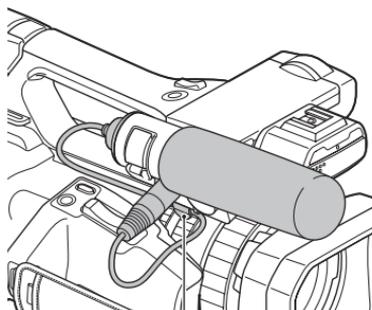
- 1 ショルダーストラップ取り付け部
- 2 ASSIGN4/LAST SCENE ボタン (55)
- 3 マイクホルダー
- 4 マルチインターフェースシュー(42、77)
- 5 ズームレバー(31)
- 6 グリップベルト取り付け部
- 7 ASSIGN5/FOCUS MAG ボタン (32、56)
- 8 グリップベルト取り付け部

マイク(別売)を取り付けるには

別売のマイクを使って音声を記録するときは、以下の手順を行ってください。

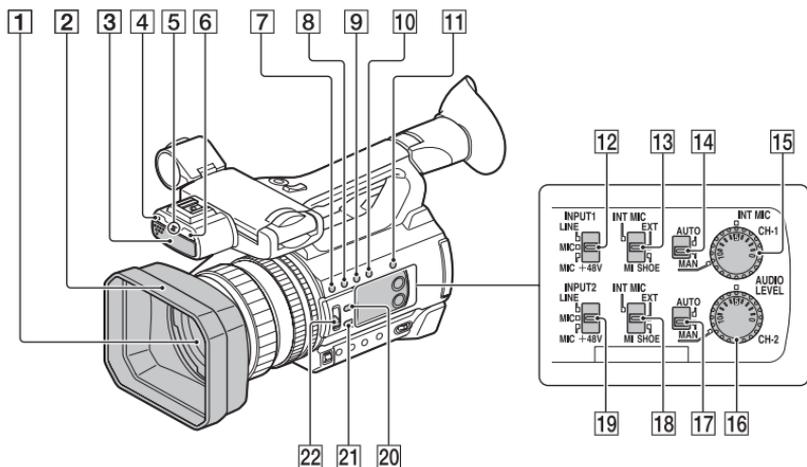


- ① マイク **A** をマイクホルダー **B** に取り付ける。
- ② マイクケーブルを INPUT1 端子または INPUT2 端子 **C** につなぐ。
- ③ 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー **D** に取り付ける。



外側のホルダーに取り付ける。

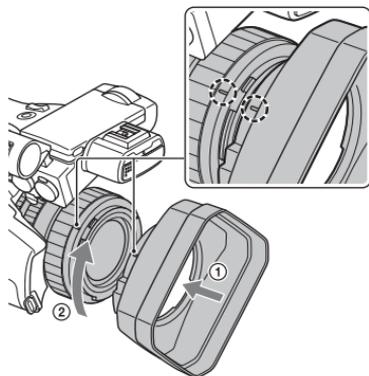
各部のなまえ(つづき)



- 1 レンズ(G レンズ搭載)
- 2 レンズフード
- 3 内蔵マイク
- 4 リモコン受光部(90)
- 5 録画ランプ(90)
メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 6 NIGHTSHOT(ナイトショット)発光部(44)
- 7 ASSIGN1/WB SET ボタン(39, 56)
- 8 ASSIGN2/STATUS ボタン(56, 62)
- 9 ASSIGN3/LOW LUX ボタン(44, 56)
- 10 DISPLAY ボタン(61)
- 11 SLOT SEL ボタン(26)
- 12 INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(40)
- 13 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ(40)
- 14 AUTO/MAN(CH-1)スイッチ(41)
- 15 AUDIO LEVEL(CH-1)ダイヤル(41)
- 16 AUDIO LEVEL(CH-2)ダイヤル(41)
- 17 AUTO/MAN(CH-2)スイッチ(41)
- 18 CH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ(40)
- 19 INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(40)
- 20 IRIS AUTO/MAN ボタン(36)
- 21 FOCUS AUTO/MAN ボタン(32)
- 22 ND FILTER スイッチ(38)

レンズフードを取り付けるには

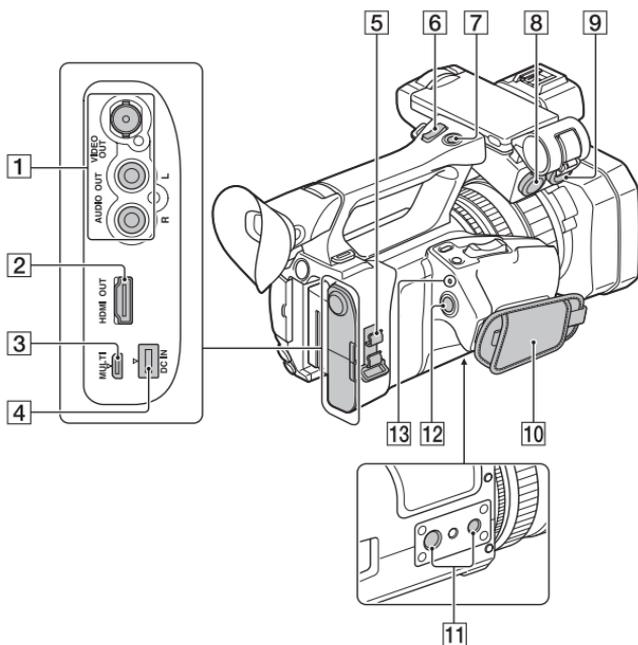
本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。



💡ちょっと一言

- 直径62ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズフードを取り外してください。

各部のなまえ(つづき)



1 VIDEO OUT 端子/AUDIO OUT 端子
(63, 79)

2 HDMI OUT 端子(63)

3 マルチ / マイクロ USB 端子(90)

4 DC IN 端子(19)

5 ケーブルクランパー/ループクラン
パー

6 ハンドルズームレバー(31)

7 ハンドル録画ボタン(27)

8 INPUT1 端子(40)

9 INPUT2 端子(40)

10 グリップベルト

11 三脚用ネジ穴(1/4 インチ、3/8 インチ)
1/4-20UNC、3/8-16UNC のネジに対
応
三脚(別売、ネジの長さ 5.5mm 以下)
を取り付けられます。

三脚の仕様によっては、適切な方向で
取り付けられない場合があります。

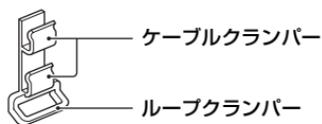
12 START/STOP ボタン(27)

13 POWER(電源)/CHG(充電)ランプ

ケーブルクランパー/ループクランパー について

コネクタに挿入した電源コードや
HDMIケーブルをケーブルクランパーに
取り付けることで、電源コードやHDMI
ケーブルが抜けにくくなります。ただし、
すべてのHDMIケーブルには対応してい
ません。

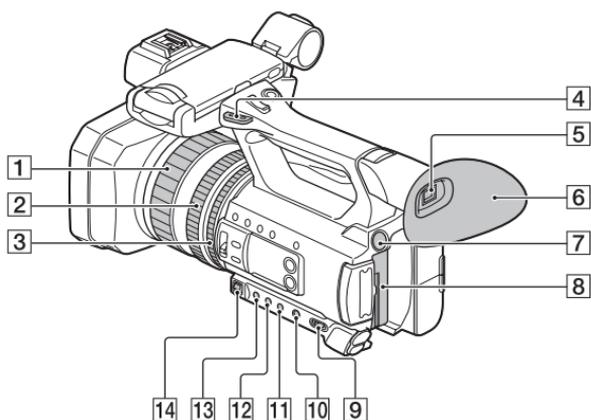
ケーブルクランパーに入らないケーブル
は、市販の結束バンドなどを使用し、ケー
ブルクランパー下部のループクランパー
に留めてください。



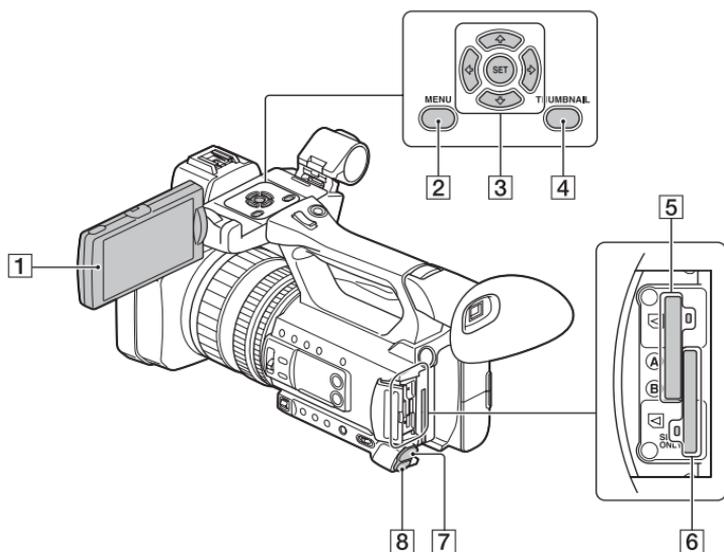
⚠ ご注意

- ケーブルクランパー/ループクランパーはケーブル保持以外の用途(たとえばストラップなどを取り付けて、カムコーダーを持ち運ぶなど)には使用しないでください。

各部のなまえ(つづき)



- 1 フォーカスリング(32)
- 2 ズームリング(31)
- 3 アイリスリング(36)
- 4 ショルダーストラップ取り付け部
- 5 ファインダー(23)
- 6 大型アイカップ(23)
- 7 BATT RELEASE ボタン(20)
- 8 バッテリー(19)
- 9 ON/STANDBY スイッチ(21)
- 10 FULL AUTO ボタン(43)
- 11 SHUTTER ボタン(37)
- 12 WHT BAL ボタン(39)
- 13 GAIN ボタン(37)
- 14 マニュアルレバー(37, 39)

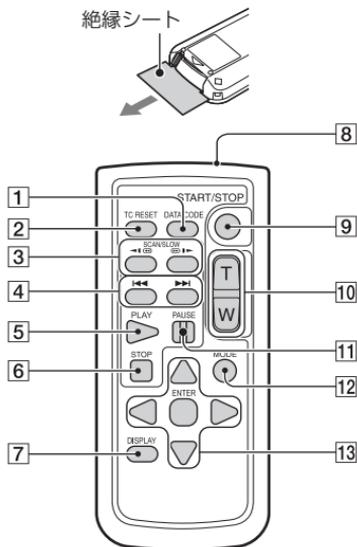


- 1 液晶モニター(23)
- 2 MENU ボタン(70)
- 3 ▲/▼/◆/▶/SET ボタン(70)
- 4 THUMBNAIL ボタン(58)
- 5 メモリーカードスロット A/ メモリーカードアクセスランプ(25)
- 6 メモリーカードスロット B/ メモリーカードアクセスランプ(25)
- 7 ♪(ヘッドホン)端子
- 8 REMOTE 端子(90)
 REMOTE 端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



- 1 DATA CODE ボタン(61)
- 2 TC RESET ボタン(52)
- 3 SCAN/SLOW ボタン(58)
- 4 ◀▶ (PREV/NEXT) ボタン(58)
- 5 PLAY ボタン(58)
- 6 STOP ボタン(58)
- 7 DISPLAY ボタン(61)
- 8 リモコン発光部
- 9 START/STOP ボタン(27)
- 10 ズームレバー
- 11 PAUSE ボタン(58)
- 12 MODE ボタン
- 13 ◀/▶/▲/▼/ENTER ボタン

⓪ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

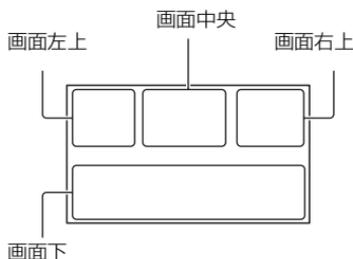
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池 (CR2025) が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
100%	バッテリー残量
	INTELLIGENT AUTO (顔認識/シーン認識/手ブレ) (43)
	SCENE SELECTION (43)
AVCHD 1080/60i EX XAVCS 1080/60p SO	REC FORMAT (34)
4:3	HDV WIDE REC (79)
WI	光学ズーム
Z99 x1.2	全画素超解像ズーム
Z99 x2.3	デジタルズーム
	SIMUL/RELAY REC
100-0001	メモリーカードの再生 フォルダ

画面中央

表示	意味
	手ブレ警告
	記録メディア
REC STBY	撮影状態
	警告 (98)
	再生表示 (58)
	処理中
	リレール記録
	HDMI REC CONTROL

画面右上

表示	意味
Omin	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00:00	タイムコード(時:分:秒: フレーム)

画面下

表示	意味
	顔認識 [ON]
PEAKING	PEAKING (83)
	ZEBRA (83)
	STEADY SHOT (77)
	手動フォーカス (32)
PP1 ~ PP6	ピクチャープロフィール (45)
F5.6	アイリス (36)
9dB	ゲイン (37)
100 180°	シャッタースピード (37)
DolbyD	AVCHD AUDIO FORMAT (81)
-2.0EV	AE SHIFT (76)
	自動設定 (36)
	ホワイトバランス (39)
	HISTOGRAM (83)
	LOW LUX (44)
	AUDIO LEVEL DISPLAY (85)
DIG.EXT	デジタルエクステンダー (76)
	NIGHTSHOT (44)
NDOFF ND1 ND2 ND3	NDフィルター (38)
	マルチインターフェース シュービデオライト (77)

画面表示(つづき)

表示	意味
	手動音量調節(42)

ちよつと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、 (DISPLAY SET)メニュー→[DATA CODE]で表示したいデータを選ぶか、再生時にDATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押すと確認できます。

目次

使用前に必ずお読みください	2
各部のなまえ	4
本体	4
ワイヤレスリモコン	12
画面表示	13

準備する

準備1:付属品を確かめる	18
準備2:バッテリーを充電する	19
準備3:電源を入れて日時を合わせる	21
電源を入れる	21
日時を合わせる	21
準備4:液晶モニターとファインダーを調節する	23
液晶モニターを使う	23
ファインダーを使う	23
ファインダーを見やすく調節する	23
準備5:メモリーカードを入れる	25

撮影する

撮影する	27
動画を撮影する	27
メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録)	29
メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録)	30
START/STOP ボタンとハンドル録画ボタンの設定を変える	30
ズームする	31
フォーカスを調節する	32
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)	32
検出した顔にピントを合わせる(顔認識)	33
録画設定を変更する	34
記録方式と録画フォーマットを選ぶ	34
DV MODE(DV モード)を設定する	35
明るさを調節する	36
アイリスを調節する	36
ゲインを調節する	37
シャッタースピードを調節する	37
光量を調節する(ND フィルター)	38
色合いを調節する	39
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	39
音の設定をする	40
内蔵マイクで収録する	41
外部音声機器などで収録する	41
マルチインターフェイスシュー対応マイク(別売)で収録する	42
好みの録音レベルに設定する	42

便利な機能を使う	43
状況に合わせて撮る(オートモード設定)	43
薄暗い場所で撮る(LOW LUX)	44
暗い場所で撮る(NIGHTSHOT)	44
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロファイル)	45
タイムデータを設定する	52
スロー&クイックモーション撮影する	53
最後に撮影した映像を再生する(ラストシーンレビュー)	55
ASSIGN ボタンに機能を割り当てる	56

再生する

本機で再生する	58
動画を再生する	58
本機の設定を変更 / 確認する	61
画面表示を切り換える	61
再生時に情報を表示する(データコード)	61
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	62
モニターやテレビにつなぐ	63

編集する

動画を保護する(プロテクト)	66
動画を分割する	66
動画を削除する	67
メモリーカードを初期化する	68
メモリーカードのデータを完全に消去する	68
管理ファイルを修復する	69

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	70
メニュー一覧	72
 (CAMERA SET)メニュー	75
撮影状況に合わせるための設定( STEADY SHOT など)	
 (REC/OUT SET)メニュー	79
録画、入出力に関する設定(REC SET/VIDEO OUT など)	
 (AUDIO SET)メニュー	81
録音に関する設定(AVCHD AUDIO FORMAT など)	
 (DISPLAY SET)メニュー	83
画面 / ファインダーの表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUT など)	
 (TC/UB SET)メニュー	87
タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMAT など)	
 (OTHERS)メニュー	88
撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/BEEP など)	

困ったときは

故障かな?と思ったら	91
警告表示とお知らせメッセージ	98

その他

記録時間について	101
海外で使う	103
メモリーカードのファイル / フォルダ構成	104
使用上のご注意とお手入れ	106
XAVC S 規格について	106
AVCHD 規格について	106
メモリーカードについて	106
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	107
本機の取り扱いについて	108
主な仕様	111
保証書とアフターサービス	114
索引	115

準備する

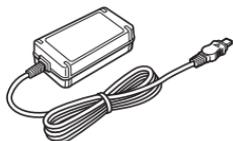
準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

●メモリーカードは別売です。

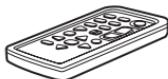
ACアダプター(19ページ)



電源コード(19ページ)



ワイヤレスリモコン(RMT-845)(12ページ)



ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

大型アイカップ(23ページ)



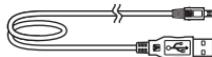
レンズフード(7ページ)



レンズキャップ(27ページ)



USBケーブル



CD-ROM「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」

取扱説明書(2)

保証書

ソフトウェアのダウンロードについて
本機をパソコンと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ:

アメリカ合衆国:

<http://pro.sony.com>

カナダ: <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ:

<http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ

<http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

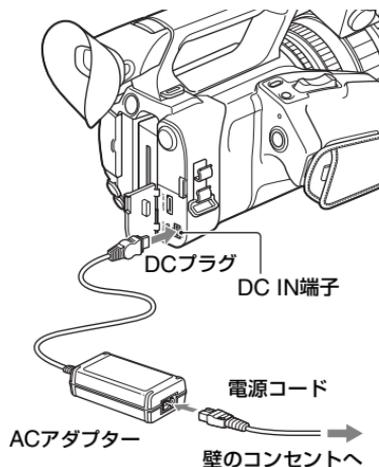
記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

準備2:バッテリーを充電する

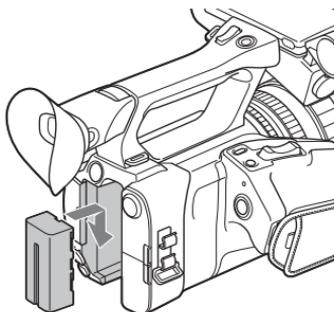
専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)(別売)を、ACアダプター(付属)を使って充電します。

ⓘ ご注意

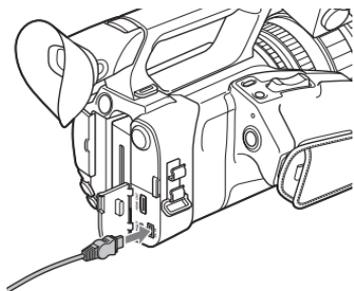
- 高容量バッテリーNP-F970(別売)がお使いいただけます。



1 バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



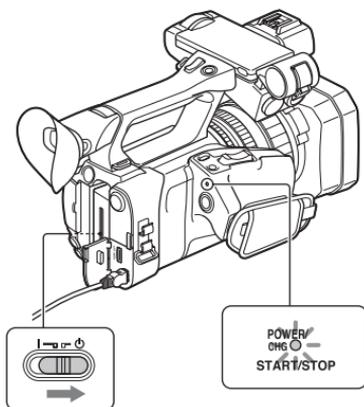
2 DCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。



3 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

4 ON/STANDBYスイッチを⏻(STANDBY)にする。

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。



準備2: バッテリーを充電する(つづき)

充電が終わると

充電が完了すると、CHG(充電)ランプが消灯します。

ⓘ注意

充電が完了してCHG(充電)ランプが消えても電源からは遮断されません。

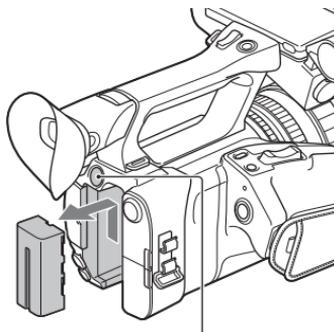
充電が終わったら、ACアダプターをDC IN端子から取り外してください。

💡ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(62ページ)。

バッテリーを取り外すには

ON/STANDBYスイッチをⓁ(STANDBY)にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、上にずらしてバッテリーを取り外す。



BATT RELEASEボタン

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください(108ページ)。

充電時間

バッテリーを使い切った状態から充電したときにかかる、およその時間(分)です。

バッテリー型名	満充電
NP-F970(別売)	520分

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、ON/STANDBYスイッチをⓁ(STANDBY)にしてから行ってください。
- 次のときは、充電中にCHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使うには

ACアダプターを使用すると、コンセントから電源を取れます。ACアダプター使用時は、バッテリーが取り付けられていても、バッテリー残量は減りません。

「準備2: バッテリーを充電する」(19ページ)の手順3まで行う。

ACアダプターについて

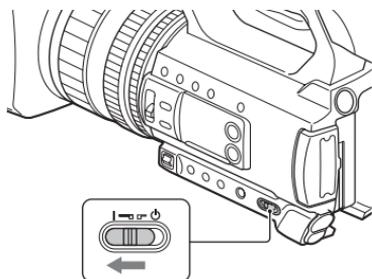
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3:電源を入れて日時を合わせる

電源を入れる

ON/STANDBYスイッチをI(ON)にする。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



電源を切るには

ON/STANDBYスイッチをO(STANDBY)にする。

⚠️ ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

日時を合わせる

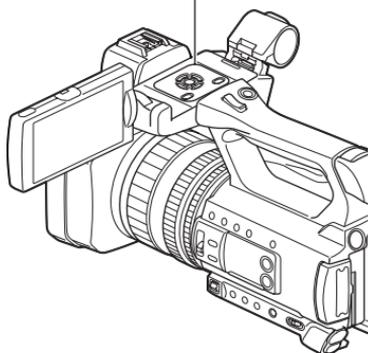
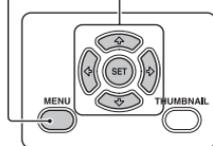
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。

🗨️ ちよつと一言

- 3か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(109ページ)。

MENUボタン

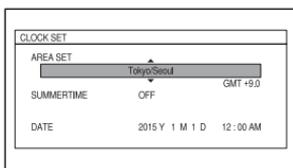
↑/↓/←/→/SETボタン



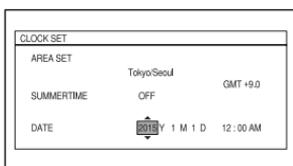
日時合わせをやり直すときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー→[CLOCK SET]を選んでください。

- ↑/↓/←/→/SET ボタンでエリアを選び、押して決定する。

準備3：電源を入れて日時を合わせる(つづき)



- 2** 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ /SET ボタンを押して決定する。



時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

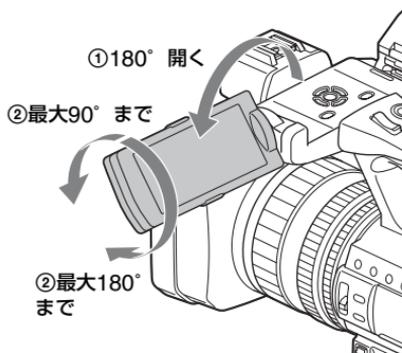
💡ちよつと一言

- 日付時刻は撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます(86ページ)。

準備4:液晶モニターとファインダーを調節する

液晶モニターを使う

液晶モニターは下図の範囲で回転させられるので、撮影者以外が映像を確認することもできます。



ファインダーを使う

液晶モニターを閉じるとファインダーが使用できるようになります。ファインダーは撮影スタイルに合わせて、角度を変えることができます。



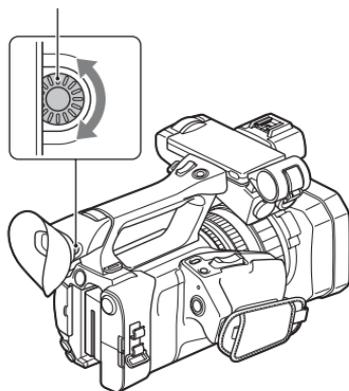
⚠️ご注意

液晶モニターとファインダー同時に使用することはできません。

ファインダーを見やすく調節する

視度調整ダイヤル

画像がはっきり見えるように動かす



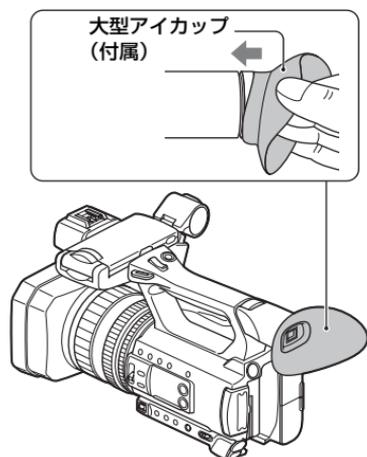
⚠️ご注意

- ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。

準備4：液晶モニターとファインダーを調節する(つづき)



ⓘ ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取り外さないでください。

準備5:メモリーカードを入れる

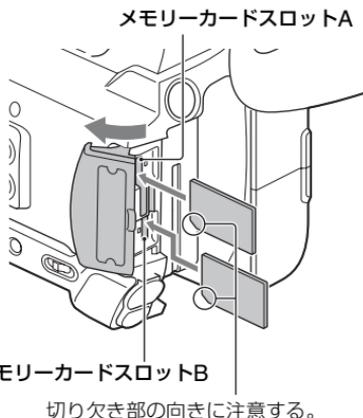
本機で使えるメモリーカード

記録方式	記録メディア
AVCHD	SD、SDHC、SDXCメモリーカード(Class4以上)、メモリスティック PRO デュオ (Mark2)、PRO-HG デュオ
DV	SD、SDHC、SDXCメモリーカード(Class6以上)、メモリスティック PRO-HG デュオ
XAVC S HD	SDXCメモリーカード (Class 10)
S&Q (AVCHD)	SD、SDHC、SDXCメモリーカード(Class 10)

⚠️ ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 標準の「メモリスティック」の半分の大きさの「メモリスティック PRO デュオ」または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカードの記録時間は101ページをご覧ください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT (SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

カバーを開けて、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」と音がするまで押し込む。



- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードスロットAは、「メモリスティック PRO デュオ」、SDカードの両方に対応しています。メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

⚠️ ご注意

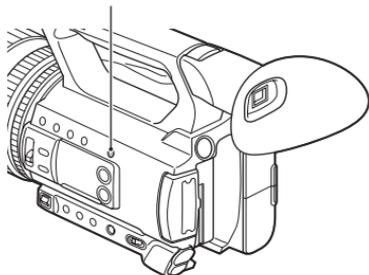
- [The image database file is corrupted. The media must be restored to use again.] と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(68ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

準備5:メモリーカードを入れる(つづき)

記録するメモリーカードスロットを選択するには

SLOT SELボタンを押して記録するスロットを切り換えます。選択したスロットは画面上で確認できます。

SLOT SELボタン

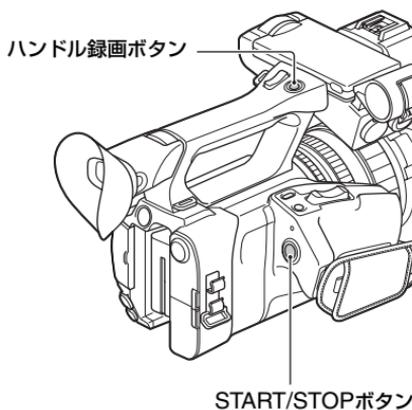


📢ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの動画の記録中に、SLOT SELボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

💡ちょっと一言

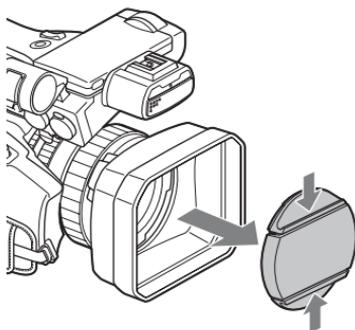
- メモリーカードが1枚だけ挿入されているときは、メモリーカードが挿入されているスロットが自動的に選択されます。



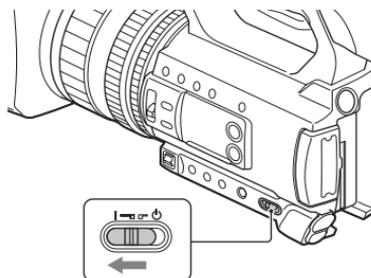
動画を撮影する

本機は動画をメモリーカードに記録します。お買い上げ時は、動画はAVCHDで記録されません。下記の手順で動画を撮影します。

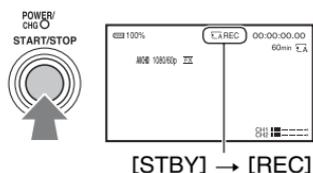
- 1 両端のノブを押しながらレンズキャップを取り外す。



2 ON/STANDBYスイッチをI(ON)にする。



3 START/STOPボタン(またはハンドル録画ボタン)を押して動画撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、START/STOPボタン(またはハンドル録画ボタン)をもう一度押します。

⚠ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 動画の記録時間については101ページをご覧ください。
- DV、AVCHD記録の場合は、撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- XAVC S HDでは約6時間で自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MAN切り換え操作を使った設定はON/STANDBYスイッチを⊖(STANDBY)にすると保存されます。保存処理中はPOWER(電源)/CHG(充電)ランプが点滅します。

🗨️ ちょっ一言

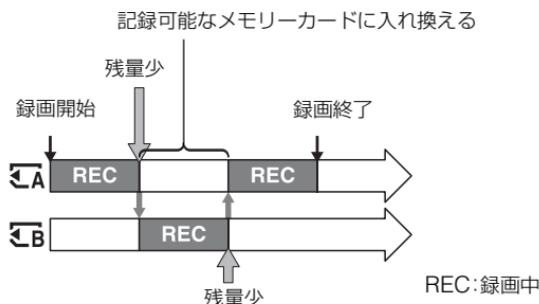
- DV以外の撮影時は、画像のアスペクト比は16:9に固定されます。DVモードで撮影するときは、4:3に切り換えられます（[**OV**] WIDE REC]、79ページ）。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては61ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については13ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます（[REC LAMP]、90ページ）。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A（またはメモリーカード B）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り換わります。

撮影前に以下の設定をしてください。

MENUボタンを押す → **▶/◀/▶/▶/SET** ボタンで、**⇄** (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [RELAY REC]にする。



📌 ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にSLOT SELボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[**▶A** → **▶B**]または[**▶B** → **▶A**]が表示されます。メモリーカードスロットが切り換わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。
- リレー記録の記録可能時間は約13時間です。記録可能時間を超えると記録は停止します。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録)

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

MENUボタンを押す → ////SET ボタンで、 (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [SIMULTANEOUS REC]にする。

START/STOPボタンとハンドル録画ボタンの設定を変える

SIMULTANEOUS RECを使用しているときには、START/STOPボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

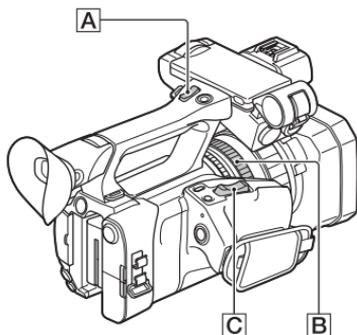
- REC BUTTON:
- HANDLE REC BUTTON:

設定を変えるには

MENUボタンを押す → ////SET ボタンで、 (REC/OUT SET) → [REC SET] → [REC BUTTON SETTING]を選択する。

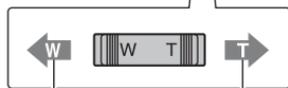
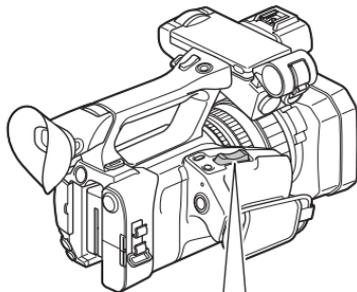
REC BUTTON SETTINGの設定	ボタンとメモリーカード
REC BUTTON: HANDLE REC BUTTON:	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
REC BUTTON: HANDLE REC BUTTON:	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
REC BUTTON: HANDLE REC BUTTON:	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

ズームする



ズームレバーでズームする

ズームレバー[C]を軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームします。



広角:
Wide(ワイド)



望遠:
Telephoto
(テレフォト)

👁️ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約1m以上です。

- 被写体との距離が1m以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバー[C]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[C]の操作音が記録されることがあります。

ハンドルズームでズームする

ハンドルズームレバー[A]を押してズームします。

👁️ちょっと一言

ハンドルズームレバー機能のオン/オフ、およびズーム駆動速度を変更することができます([HANDLE ZOOM]、76ページ)。

ズームリングでズームする

ズームリング[B]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

👁️ご注意

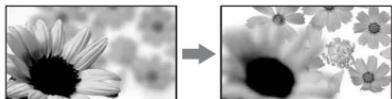
- ズームリング[B]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

フォーカスを調節する

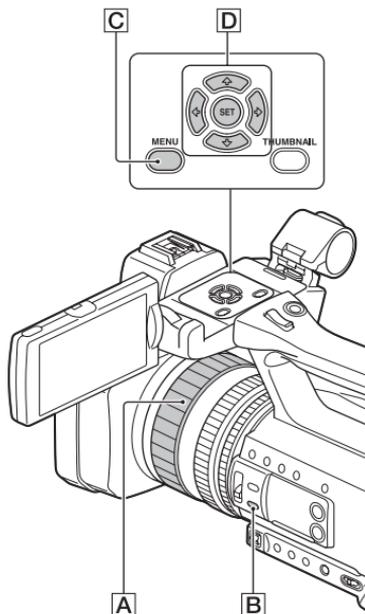
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体



1 撮影またはスタンバイ中に、**FOCUS AUTO/MANボタン** **[B]** を押して、フォーカスを手動にする。

[B] が表示されます。

2 フォーカスリング **[A]** を回してピントが合うように調節する。

[B] は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき **▲** に変わり、それ以上近くに合わせられないとき **■** に変わります。

自動調整するには

FOCUS AUTO/MANボタン **[B]** を押して、フォーカスを自動にする。
[B] が消え自動調整に戻ります。

🗨️ ちよつと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。
 - **FOCUS AUTO/MANボタン** **[B]** を押して、フォーカスを手動にして **[B]** を表示させたとき
 - **[B]** 表示中にフォーカスリング **[A]** を回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます([FOCUS DISPLAY], 85ページ)。

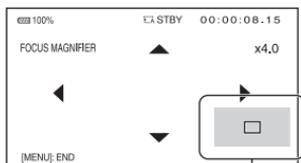
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)

選択された領域の画面を拡大して表示します。ピントが合っているかを確認するときに便利です。

ASSIGN5/FOCUS MAG ボタンに **[FOCUS MAGNIFIER]** が割り当てられています(56ページ)。

ASSIGN5/FOCUS MAGボタンを押す。

画面中央が拡大されます。
押すたびに設定が切り換わります。



拡大表示位置

本機の $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンで拡大表示の位置を変更できます。SETボタンを押すと、拡大表示位置が中央に戻ります。

ⓘご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

💡ちょっと一言

- [FOCUS MAG RATIO]で拡大する倍率を切り換えられます(85ページ)。

検出した顔にピントを合わせる (顔認識)

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます(お買い上げ時の設定は[OFF])。フォーカスが自動のときに使用できます。

1 MENUボタン \square を押す。

- ## 2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン \square で、
- ▶ \square (CAMERA SET)メニュー
 - [FACE DETECTION] →
 - [ON]を選ぶ。

顔を検出すると、枠が表示されます。

- ## 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン \square を押して
- 選択カーソル(オレンジ色の枠)を移動して、優先する顔を選び、押しで決定する。

選択カーソル(オレンジ)



優先顔枠(二重)

優先されている顔枠が二重枠に変わります。

優先顔を止めるには

- $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン \square で優先設定している顔枠(二重枠)に選択カーソル(オレンジ色の枠)を合わせて、押しで決定する。

ⓘご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。
- デジタルズーム中やナイトショット中は、顔検出が無効になります。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。
- 顔検出をしやすくするためには以下のような状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
 - 顔をカメラ正面に向ける

録画設定を変更する

記録方式と録画フォーマットを選ぶ

本機では、[FILE FORMAT]で記録方式と[REC FORMAT]で録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。

[FILE FORMAT]ではXAVC S HDとAVCHDの2種類から画質を選べます。撮影する場面や再生機器に合わせて、お好みの画質を選んでください。

1 MENUボタンを押す。

2 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで、
⇒ (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [FILE FORMAT] → 希望の記録方式を選択する。

3 **↑/↓/←/→/SET** ボタンで、
⇒ (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [REC FORMAT] → 希望の録画フォーマットを選択する。

設定値

XAVC S HDの場合

60i	50i
1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
1080/24p 50Mbps	-

AVCHDの場合

60i	50i
1080/60p PS	1080/50p PS
1080/60i FX	1080/50i FX
1080/60i FH	1080/50i FH
1080/60i HQ	1080/50i HQ
1080/60i LP	1080/50i LP
1080/30p FX	1080/25p FX
1080/30p FH	1080/25p FH
1080/24p FX	-
1080/24p FH	-
720/60p FX	720/50p FX
720/60p FH	720/50p FH
720/60p HQ	720/50p HQ

設定値について

- ビットレート
PS: 最大28Mbps
FX: 最大24Mbps
FH: 約17Mbps(平均)
HQ: 約9Mbps(平均)
LP: 約5Mbps(平均)
- 画サイズ
1080: 1,920×1,080(PS, FX, FH)、
1,440×1,080(HQ, LP)
720: 1,280×720
- フレームレート
60、50、30、25、24のいずれか
- スキャン方式
i: インターレース
p: プログレッシブ
設定値の値がそれぞれ何を表しているかを1080/60i FXを例に説明します。
- 1080: 有効走査線数を表しています。
- 60: フレームレートを表します。
- i: スキャン方式を表します。
- FX: 録画モードを表します。

👁️ちよつと言

- DVIは480/60i HQ(576/50i HQ)に固定されます。

「60iのとき」のフレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

DV MODE(DVモード)を設定する

本機では、標準画質のDV規格での記録・再生が可能です。

1 MENUボタンを押す。

- 2 **⇄/⇄/⇄/SET** ボタンで、
⇄ (REC/OUT SET)メニュー
 → [REC SET] → [DV MODE]
 → [YES]を選択する。
 再起動してDVモードに切り換わりま
 す。

DVモード設定時に使用できなくなる機能

- スロー&クイックモーション撮影
- 記録した動画を保護する(プロテクト)
 - メニューに[PROTECT]は表示されません。
- 動画を分割する
 - メニューに[DIVIDE]は表示されません。

📌ご注意

- DVモード選択時は、音声記録はLPCMに固定されます。

DVモード設定時のみ使用できるメニュー

- ⇄ (REC/OUT SET)
 - **DV** WIDE REC
 - CANCEL DV MODE

📌ご注意

- モード切り換えを行うと、設定が初期化されます。
 ファイルサイズが2GBで自動分割されますが、本機では自動分割されたファイルはまとめて1つの動画として表示されます。

DVモードを解除するには

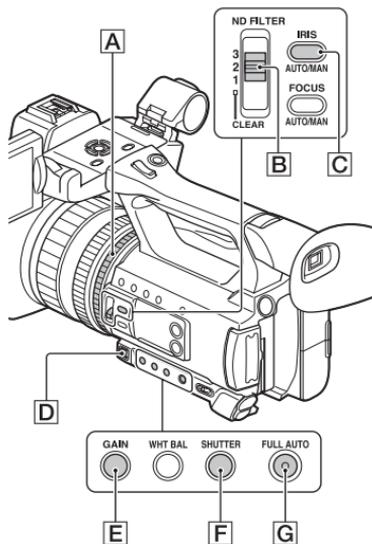
- ① MENU ボタンを押す。
- ② **⇄/⇄/⇄/SET** ボタンで **⇄** (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [CANCEL DV MODE] → [YES]を選択する。

DVモードを解除すると、以下の設定は買い上げ時に戻ります。

- S&Q MOTION
- REC SET
- AVCHD AUDIO FORMAT

明るさを調節する

アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルタースイッチ[B]を使って光量を調節したりすることで、明るさを調節できます。



ⓘ ご注意

- FULL AUTOボタン[G]をオンにすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

アイリスを調節する

背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

1 FULL AUTOボタン[G]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 IRIS AUTO/MANボタン[C]を押して、アイリスを手動にする。

アイリス値の横から[A]が消えます。



アイリス値

3 アイリスリング[A]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくすると)光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくすると)、光量が減ります。

一時的に自動調整にするには

任意のASSIGNボタンに[IRIS PUSH AUTO]機能を割り当てれば(56ページ)、そのASSIGNボタンを押している間だけ、自動で調整されます。

自動調整にするには

アイリス値の横の[A]が消えている状態からIRIS AUTO/MANボタン[C]を押す。アイリス値が消えるか、もしくはアイリス値の横に[A]が表示されます。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によって、値を上げたくないときに使います。

1 FULL AUTOボタン[G]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 GAINボタン[E]を押す。

ゲイン値の横からAが消え、ゲイン値が反転します。



ゲイン値

3 マニュアルレバー[D]で調整する。

設定値：

33dB、30dB、27dB、24dB、21dB、18dB、15dB、12dB、9dB、6dB、3dB、0dB(お買い上げ時の設定)、-3dB

自動調整にするには

ゲイン値が反転表示している状態からGAINボタン[E]を押す。ゲイン値が消えるか、もしくは、ゲイン値の横にAが表示されます。

シャッタースピードを調節する

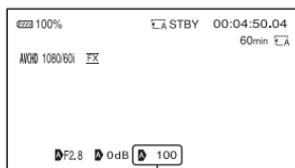
シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1 FULL AUTOボタン[G]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 SHUTTERボタン[F]を押す。

シャッタースピードの値の横からAが消え、シャッタースピード値が反転します。



シャッタースピード値

3 マニュアルレバー[D]で調整する。

選択値：

[60iのとき]

1/8~1/10000(ただし、24p撮影時は1/6~1/10000)から選べます。

[50iのとき]

1/6~1/10000から選べます。

シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

明るさを調節する(つづき)

👁️ちょっと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/50、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。
- シャッタースピード表示は秒表示と角度表示で切り換えられます([SHUTTER DISPLAY]、86ページ)。

自動調整するには

シャッタースピード値が反転表示している状態からSHUTTERボタン[F]を押す。シャッタースピード値が消えるか、もしくはシャッタースピード値の横にAが表示されます。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルタースイッチ[B]を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

アイリスを自動調節しているとき、ND1が点滅したときは、NDフィルター1に、ND2が点滅したときはNDフィルター2に、ND3が点滅したときはNDフィルター3にします。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

NDOFFが点滅したときは、NDフィルタースイッチ[B]を「CLEAR」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

👁️ご注意

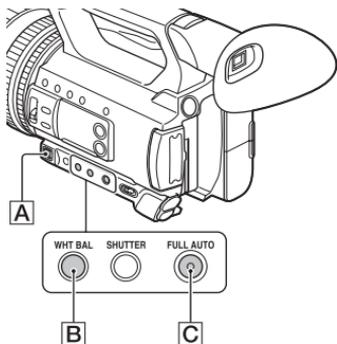
- 撮影中にNDフィルタースイッチ[B]を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
- NDフィルターの位置(CLEAR/1/2/3)を検出できないときは、画面上にNDが点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

👁️ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルタースイッチ[B]を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

色合いを調節する

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(☑️ A)またはB(☑️ B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ

📷 (CAMERA SET)メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

👉 ちょっと一言

- [WB PRESET]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

1 FULL AUTOボタン[C]を押して、オートモードをオフにする。

FULL AUTOボタンのランプが消灯します。

2 WHT BALボタン[B]を押す。

ホワイトバランス値が反転します。

3 マニュアルレバー[A]でPRESET/A/Bのいずれかを選択する。

■ A/Bの設定値

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

■ PRESETの設定値

📷 (CAMERA SET)メニュー → [WB PRESET]でお好みの設定を選ぶ。

設定値	撮影状況例
☀️ 屋外 ([OUTDOOR])	<ul style="list-style-type: none">● 夜景やネオン、花火などを撮るとき● 日の出、日没などを撮るとき● 昼光色蛍光灯の下
🌳 屋内 ([INDOOR])	<ul style="list-style-type: none">● パーティー会場など照明条件が変化する場所● スタジオなどビデオライトの下● ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	<ul style="list-style-type: none">● 📷 (CAMERA SET)メニュー → [WB TEMP SET]で、2300K ~ 15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の設定は6500K)。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① FULL AUTO ボタン [C] を押して、オートモードをオフにする。
- ② WHT BAL ボタン [B] を押してホワイトバランス値を反転表示させる。

- ③ マニュアルレバーで A(📷A)または B(📷B)を選ぶ。
- ④ MENU ボタンを押す。
- ⑤ ⬅️/➡️/🔍/SET ボタンで 📷(CAMERA SET)メニュー→[WB SET]を選択する。
- ⑥ 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。
- ⑦ SET ボタンを押す。
📷A または 📷B に調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が 3 秒ほど表示されます。

💡ちょっと一言

- ASSIGN1/WB SETボタンに[WB SET]が割り当てられています。④～⑦の代わりに撮影画面でASSIGN1/WB SETボタンを押すと調整値が記憶されます。

📌ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、📷Aまたは📷Bが遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60(1/50)付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。

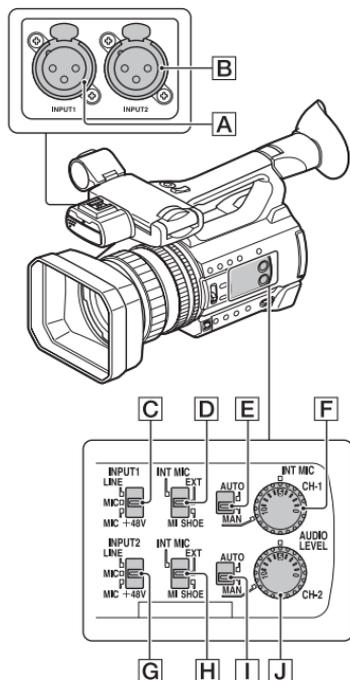
自動調整に戻すには

WHT BALボタン[B]を押す。

📌ご注意

- FULL AUTOボタン[C]をオンにすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

下図の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。マイクの接続については5ページをご覧ください。



外部音声の入力と選択

- A**: INPUT1端子
- B**: INPUT2端子
- C**: INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ
- G**: INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ

音源の選択

- D**: CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ
- H**: CH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ

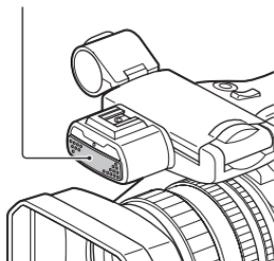
録音レベルの選択

- [E]: AUTO/MAN(CH-1)スイッチ
- [I]: AUTO/MAN(CH-2)スイッチ
- [F]: AUDIO LEVEL(CH-1)ダイヤル
- [J]: AUDIO LEVEL(CH-2)ダイヤル

内蔵マイクで収録する

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。

内蔵マイク



1 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]とCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「INT MIC」にする。

👂ちょっと一言

- 音が小さいときは、[INT MIC SENS]を[HIGH]にしてください。
- 風切り音を低減するには、[INT MIC WIND]を[ON]にしてください。
- CH-1/CH-2ともに内蔵マイクを選択した場合(CH-1:INT MIC、CH-2:INT MIC)、記録中およびスタンバイ中にヘッドホンから出力される音は、実際に記録される音よりもステレオ感が弱くなります。

外部音声機器などで収録する

マイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

- INPUT1端子[A]/INPUT2端子[B]に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ([C]または[G])を設定します。
- マイクで収録する場合は、「MIC」または「MIC+48V」を選択します。マイクの接続については5ページをご覧ください。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

📌ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
- 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ([C]または[G])を「LINE」にしてください。

2 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]とCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「EXT」にする。

- [XLR SET]の[INPUT CH SELECT]メニューが[INPUT1/INPUT2]に設定されている場合は、INPUT1/INPUT2端子の音声がそれぞれCH-1/CH-2に記録されます。

音の設定をする(つづき)

- [XLR SET]の[INPUT CH SELECT]メニューが[INPUT1/INPUT1]に設定されている場合は、INPUT1端子の音声はCH-1/CH-2の両方に記録されます。

メニューの[XLR SET]の[INPUT CH SELECT]の設定	CH-1、CH-2に録音される音声
INPUT1/ INPUT2	INPUT1 ●→ CH1 INPUT2 ●→ CH2
INPUT1/ INPUT1	INPUT1 ●→ CH1 └→ CH2

3 外部音声機器の入力レベルを設定する。

INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ([C]または[G])が「MIC」か「MIC+48V」のときは、メニューの[INPUT1 TRIM]/[INPUT2 TRIM](82ページ)でXLRマイクの入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。

💡ちょっと一言

- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT1端子[A]にL(左)チャンネル、INPUT2端子[B]にR(右)チャンネルを接続しCH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]とCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「EXT」に設定してください。

マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)で収録する

マルチインターフェースシュー対応マイクで、ステレオ音声を収録できます。

1 マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)をマルチインターフェースシュー端子につなぐ。

2 CH-1(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[D]およびCH-2(INT MIC/EXT/MI SHOE)スイッチ[H]を「MI SHOE」にする。

好みの録音レベルに設定する

CH-1/CH-2スイッチ両方を「INT MIC」に設定した場合、CH-1スイッチ/ダイヤルに左右のチャンネルが連動します。

1 調節するチャンネル(CH-1またはCH-2)のAUTO/MANスイッチ[E]または[I]を「MAN」にする。 画面に が表示されます。

2 (CH-1またはCH-2)のAUDIO LEVELダイヤル[F]または[J]を回して、録音レベルを調節する。

適正なレベルになっているか、ヘッドホンやオーディオレベルメーターで確認してください。

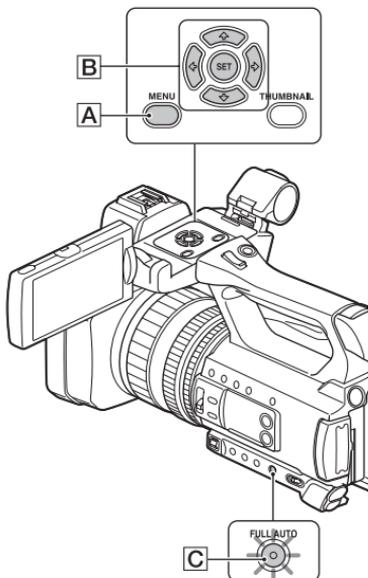
自動調整に戻すには

手動調節したチャンネル(CH-1またはCH-2)のAUTO/MANスイッチ[E]または[I]を「AUTO」にする。

便利な機能を使う

状況に合わせて撮る(オートモード設定)

撮影するシーンに合わせて最適な設定で撮影できます。



1 FULL AUTOボタン[C]を押して、オートモードをオンにする。

FULL AUTOボタンのランプが点灯します。

2 MENUボタン[A]を押す。

3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]で、CAMERA SET)メニュー → [AUTO MODE SET]を選ぶ。

4 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して [AUTO]、[INTELLIGENT AUTO]、[SCENE SELECTION] のいずれかを選び、押して決定する。

❖ご注意

- [INTELLIGENT AUTO]を選択しているときは、手ブレ補正が[ACTIVE]に設定されるため、画角が1.08倍テレシフトします。

[INTELLIGENT AUTO]で認識されるシーン

顔: (人物)、 (赤ちゃん)

シーン: (逆光)、 (風景)、 (夜景)、 (スポットライト)、 (低照度)、 (マクロ)

手ブレ: (歩き)、 (三脚)

[SCENE SELECTION]を設定するには

- ① MENUボタン[A]を押し、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して、CAMERA SET)メニュー → [SCENE SELECTION SET]を選び、押して決定する。
- ② $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して希望の設定を選び、押して決定する。

設定値	撮影状況
夜景* ([NIGHT SCENE])	三脚(別売)を使用して、夜景に最適な露出で撮影できる。
日の出&夕焼け* ([SUNRISE & SUNSET])	朝焼けや夕焼けの風景を色鮮やかに撮影する。
打ち上げ花火* ([FIREWORK S])	打ち上げ花火に最適な露出で撮影する。

便利な機能を使う(つづき)

設定値	撮影状況
 風景* ([LANDSCAPE])	遠景ではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。
 ポートレート ([PORTRAIT])	背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。
 スポットライト ([SPOTLIGHT])	スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。
 ビーチ ([BEACH])	海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

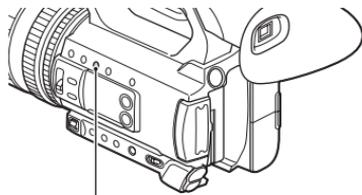
* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

薄暗い場所で撮る (LOW LUX)

街灯の少ない屋外、薄暗い屋内などの低照度の場所でも、ゲインとシャッタースピードを自動的に最適化にすることにより、鮮やかな映像を撮影することができます。

📌 ご注意

FULL AUTOがオンおよび[AUTO MODE SET]が[AUTO]のときのみ使用可能です。



LOW LUXボタン

1 FULL AUTOボタンを押して、オートモードをオンにする。

FULL AUTOボタンのランプが点灯します。

2 ASSIGN3/LOW LUXボタンを押す。

-  が表示されます。
- 解除するには、ASSIGN3/LOW LUXボタンをもう一度押します。

暗い場所で撮る (NIGHTSHOT)

真っ暗な場所でも撮影できます。

📌 ご注意

FULL AUTOがオンのときのみ使用可能です。

1 FULL AUTOボタンを押して、オートモードをオンにする。

FULL AUTOボタンのランプが点灯します。

2 ASSIGNボタンに [NIGHTSHOT] を割り当てる。 (56ページ)

3 ASSIGNボタンを押す。

-  が表示されます。
- 解除するには、ASSIGNボタンをもう一度押します。

📌 ご注意

- NIGHTSHOTは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)

[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ⓘ ご注意

- お買い上げ時の設定は[PP4]になっています。

ピクチャープロファイル番号	設定例
PP1	[STANDARD]ガンマを用いた設定例
PP2	[STILL]ガンマを用いた設定例
PP3	[ITU-709]ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	[ITU-709]規格に忠実な色合いの設定例
PP5	一般的な映画用カラーネガフィルムによる撮影画のような設定例
PP6	一般的な映画用カラープリントフィルムで上映したような設定例

1 MENUボタンを押す。

2 /SETボタンで

- (CAMERA SET)メニュー
- [PICTURE PROFILE] → 希望のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。

3 /SET ボタンを押して [OK]を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

ⓘ ちょっと一言

[PICTURE PROFILE]を割り当てたASSIGNボタンを押して実行することもできます。

ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、/SET ボタンを押して決定します。

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できません。

- 手順3で/SET ボタンを押して [SETTING]を選び、押して決定する。
- /SET ボタンを押して調節したい項目を選び、押して決定する。
- /SET ボタンを押して画質を調節し、押して決定する。
- 手順②、③を繰り返して他の項目を調節する。
- /SET ボタンを押して [↩ RETURN]を選び、押して決定する。
- /SET ボタンを押して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

便利な機能を使う(つづき)

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
	黒レベルを設定する。 -15~+15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準ガンマカーブ
[STILL]	静止画撮影したようなトーンのガンマカーブ
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5

📌ご注意

- 本機には静止画撮影モードはありません。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大)~+7(ブラックストレッチ最大)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白とびを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[GAMMA]で[STANDARD][STILL]を選択しているときは、[MODE]を[AUTO]にしていると[KNEE]は無効になります。[MODE]を[MANUAL]にすると[KNEE]の機能を使用できます。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動／手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90%~100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH / MIDDLE / LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75%~105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい)~+5(傾きが大きい) +5に設定すると、[KNEE]は無効になります。

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	[GAMMA]が[STANDARD]のときに適した色合い。
[STILL]	[GAMMA]が[STILL]のときに適した色合い。
[CINEMATONE1]	[GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。
[CINEMATONE2]	[GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。
[PRO]	[GAMMA]が[ITU-709]のときに自然な色合い。
[ITU709 MATRIX]	ITU709規格に忠実な色合い(ITU709ガンマと組み合わせた場合)。
[B/W]	彩度を0にし、白黒で撮影する。

便利な機能を使う(つづき)

SATURATION

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-32(薄くなる)~+32(濃くなる)

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)~+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)~+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)~+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)~+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)~+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)~+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)~+7(黄が深くなる)

COLOR CORRECTION

色補正を設定する。

設定項目	調節する内容
TYPE	カラーコレクションタイプを選ぶ。 [OFF]: カラーコレクションを行わない。 [COLOR REVISION]: メモリーに設定されている色を補正する。 メモリー以外の色([COLOR EXTRACT]の設定で白黒で表示される部分)は補正されません。 [COLOR EXTRACT]: メモリー設定されている色のみカラーで表示する。 他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
MEMORY SELECTION	有効にするメモリーを選ぶ。 [1]: メモリー1の設定のみ有効にする。 [2]: メモリー2の設定のみ有効にする。 [1&2]: メモリー1、2ともに有効にする。

設定項目	調節する内容
MEMORY1 COLOR	<p>メモリー1の色を設定する。 [PHASE]:色相を選ぶ。 0(紫)～8(赤)～16(黄)～24(緑)～31(青) [PHASE RANGE]:色相の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)～31(広い:色相の近い他の色も選ぶ) [SATURATION]:彩度を選ぶ。 0(薄い色から濃い色まで選ぶ)～31(濃い色のみ選ぶ) [ONE PUSH SET]:センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて[PHASE]を自動選択する。[SATURATION]は0にリセットされる。</p>
MEMORY1 REVISION	<p>メモリー1の色を補正する。 [PHASE]:メモリー1で選択した色の色相を補正する。 -15～+15(0の場合、補正されません。) [SATURATION]:メモリー1で選択した色の彩度を補正する。 -15～+15(0の場合、補正されません。)</p>
MEMORY2 COLOR	<p>メモリー2の色を設定する。 設定項目や設定内容については、[MEMORY1 COLOR]を参照してください。</p>
MEMORY2 REVISION	<p>メモリー2の色を補正する。 設定項目や設定内容については、[MEMORY1 REVISION]を参照してください。</p>

💡ちよっと一言

- 2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。
- [COLOR CORRECTION]の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。
- ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの[WB SHIFT]、[SATURATION]、[COLOR PHASE]の設定を変更すると、色設定や補正される色合いが変化します。[COLOR CORRECTION]の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、[COLOR CORRECTION]の設定を見直してください。
- ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。
フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC]: フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB [COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかかる)~+9(赤みがかかる)
[CC [MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかかる)~+9(マゼンタがかかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)~+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)~+9(Bのレベルが上がる)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7~+7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手动詳細設定をON/OFFする。 [ON]にすると、[DETAIL]の手动詳細設定を行う(自動最適化は行われない)。 [V/H BALANCE] : 垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い)~+2(水平(H)が強い) [B/W BALANCE] : 下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い)~TYPE5(上側(W)が強い) [LIMIT] : DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい))~7(リミットレベルが高い(リミットされにくい)) [CRISPENING] : クリプニングレベルを設定する。 0(クリプニングレベルが浅い)~7(クリプニングレベルが深い) [HI-LIGHT DETAIL] : 高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 0~4

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

便利な機能を使う(つづき)

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- ① MENU ボタンを押す。
- ② / / SET ボタンで (CAMERA SET) メニュー → [PICTURE PROFILE] → 希望のピクチャープロファイル番号を選び、押しして決定する。
- ③ / / SET ボタンを押しして [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ / / SET ボタンを押ししてコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押しして決定する。
- ⑤ / / SET ボタンを押しして [YES] → RETURN → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

- ① MENU ボタンを押す。
- ② / / SET ボタンで (CAMERA SET) メニュー → [PICTURE PROFILE] → 希望のピクチャープロファイル番号を選び、押しして決定する。
- ③ / / SET ボタンを押しして [SETTING] → [RESET] → [YES] → RETURN → [OK] を選ぶ。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードを設定する

- ① MENU ボタンを押し、 / / SET ボタンを押しして **00:00** (TC/UB SET) メニュー → [TC PRESET] を選び、押しして決定する。
- ② / / SET ボタンを押しして [PRESET] を選び、押しして決定する。
- ③ / / SET ボタンを押しして最初の2桁の数値を選び、押しして決定する。タイムコードは以下の範囲で設定します。
[60i のとき]
00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
• 24p設定時は、末尾2桁を0~23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
[50i のとき]
00:00:00:00 ~ 23:59:59:24
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ / / SET ボタンを押しして [OK] を選び、押しして決定する。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で [RESET] を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンのTC RESETボタンを押ししても、タイムコードをリセット(00:00:00:00)できません。

ユーザービットを設定する

- ① MENU ボタンを押し、 / / SET ボタンを押しして **00:00** (TC/UB SET) メニュー → [UB PRESET] を選び、押しして決定する。
- ② / / SET ボタンを押しして [PRESET] を選び、押しして決定する。
- ③ / / SET ボタンを押しして最初の2桁の数値を選び、押しして決定する。
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。

- ⑤ $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンを押して[OK]を選び、押して決定する。

ユーザービットをリセットするには
「ユーザービットを設定する」の手順②で[RESET]を選び、ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

スロー&クイックモーション撮影する

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常の数倍の速度で撮影した映像を低速再生、高速再生する場合よりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。スロー&クイックモーションはAVCHDで行えます。

再生速度

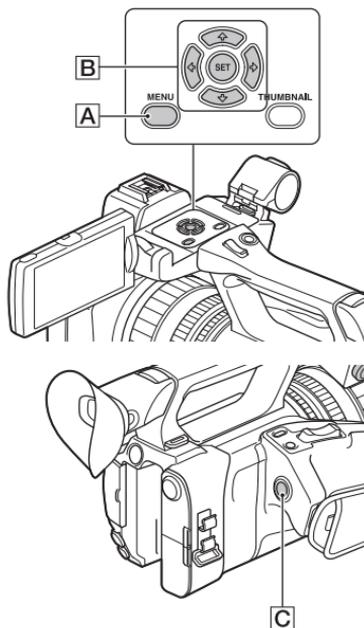
録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下ようになります。

[60iのとき]

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
60	40% スロー	50% スロー	100% (標準)
30	80% スロー	100% (標準)	200% クイック
15	160% クイック	200% クイック	400% クイック
8	300% クイック	375% クイック	750% クイック
4	600% クイック	750% クイック	1500% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック	3000% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック	6000% クイック

[50iのとき]

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/25p	1080/50p
50	50% スロー	100% (標準)
25	100% (標準)	200% クイック
12	208% クイック	417% クイック
6	417% クイック	833% クイック
3	833% クイック	1667% クイック
2	1250% クイック	2500% クイック
1	2500% クイック	5000% クイック



便利な機能を使う(つづき)

④ ご注意

- スロー&クイックモーションが撮影可能なメディアについては、25ページをご覧ください。
- クイックモーション撮影は、記録が停止しない場合があります(設定により、最大30秒程記録を継続します)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

撮影前の設定

録画フォーマットとフレームレートを設定します。

- ① MENU ボタン **[A]** を押す。
- ② **▶/◀/▶/▶/SET** ボタン **[B]** で **▶/▶/▶/▶/SET** (CAMERA SET) メニュー → [S&Q MOTION] → [REC FORMAT] を選ぶ。
- ③ 録画フォーマットを設定する。
設定値

60i	50i
1080/60p PS	1080/50p PS
1080/30p FX	1080/25p FX
1080/30p FH	1080/25p FH
1080/24p FX	-
1080/24p FH	-

- ④ **▶/▶/▶/▶/SET** ボタン **[B]** で [FRAME RATE] を選び、フレームレートを設定する。

60i	50i
60fps	50fps
30fps	25fps
15fps	12fps
8fps	6fps
4fps	3fps
2fps	2fps
1fps	1fps

- ⑤ **[↩ RETURN]** を選ぶ。

スロー&クイックモーションモードで撮影する

- ① **▶/▶/▶/▶/SET** ボタン **[B]** で **▶/▶/▶/▶/SET** (CAMERA SET) メニュー → [S&Q MOTION] → [EXECUTE] を選ぶか、ASSIGN ボタンに [S&Q MOTION] を割り当て、ASSIGN ボタンを押す。
- ② START/STOP ボタン **[C]** を押す。
スロー&クイックモーションモードでの記録が始まります。

スロー&クイックモーション記録を停止するには

START/STOP ボタン **[C]** を押す。

フレームレートの設定を変更するには
ASSIGN ボタンを約1秒間長押しして、**▶/▶/▶/▶/SET** ボタン **[B]** で設定値を変更する。
ASSIGN ボタンをもう一度約1秒間長押しすると元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、ASSIGN ボタンまたは MENU ボタン **[A]** を押す。

④ ご注意

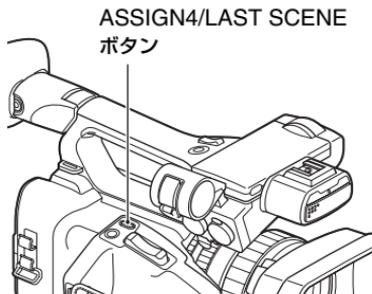
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、START/STOP ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードは [REC RUN] で記録されます (87ページ)。
- 本機の電源を切った場合も、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- スロー&クイックモーション撮影中は、音声の記録はできません。

- メモリーカードAとメモリーカードBへの同時記録はできません。
- XAVC S HD、DVでは、スロー&クイックモーション撮影はできません。
- FULL AUTOがオンの場合、スロー&クイックモーション撮影はできません。

最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認できます。

ASSIGN4/LAST SCENEボタンに[LAST SCENE REVIEW]が割り当てられています(56ページ)。



録画を停止したら、ASSIGN4/ LAST SCENEボタンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中にASSIGN4/LAST SCENEボタンを押すと中断し、スタンバイに戻ります。

ⓘ ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行できない場合があります。

ASSIGN ボタンに機能を割り当てる

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができません。

ASSIGN1～5ボタンに1つずつ割り当てられます。

各機能については、「メニュー一覧」(72ページ)をご覧ください。

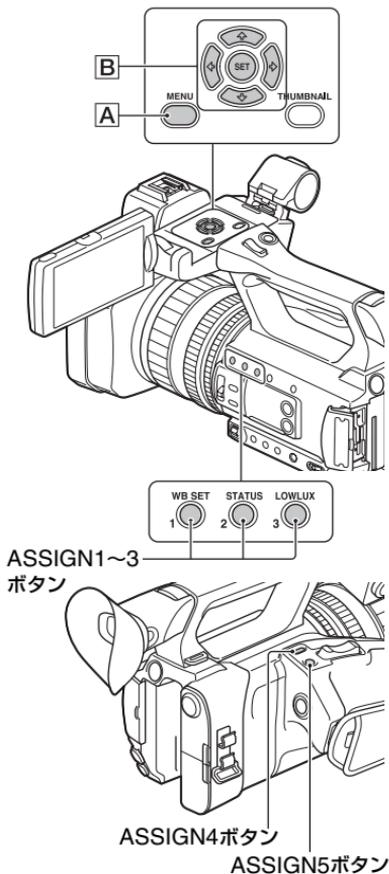
- CAMERA DATA DISPLAY(85ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY(85ページ)
- DATA CODE(86ページ)
- TC/UB DISPLAY(87ページ)
- STATUS CHECK(62ページ)
- REC LAMP(90ページ)
- THUMBNAIL(58ページ)

お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1: WB SET(39ページ)
- ASSIGN2: STATUS CHECK(62ページ)
- ASSIGN3: LOW LUX(44ページ)
- ASSIGN4: LAST SCENE REVIEW(55ページ)
- ASSIGN5: FOCUS MAGNIFIER(32ページ)

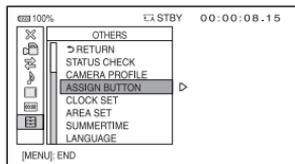
割り当てられる機能

- (機能なし)
- LOW LUX(44ページ)
- FOCUS MAGNIFIER(32ページ)
- LAST SCENE REVIEW(55ページ)
- WHT BAL(39ページ)
- WB PRESET(75ページ)
- WB SET(39ページ)
- AE SHIFT(76ページ)
- D.EXTENDER(76ページ)
- STEADYSHOT(77ページ)
- S&Q MOTION(53ページ)
- AUTO MODE SET(43ページ)
- SCENE SELECTION SET(43ページ)
- NIGHTSHOT(44ページ)
- IRIS PUSH AUTO(36ページ)
- FACE DETECTION(33ページ)
- COLOR BAR(78ページ)
- PICTURE PROFILE(45ページ)
- VOLUME(81ページ)
- HISTOGRAM(83ページ)
- ZEBRA(83ページ)
- PEAKING(83ページ)
- MARKER(84ページ)



1 MENUボタン[A]を押す。

2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]で
 $\left[\begin{array}{|c|} \hline \text{OTHERS} \\ \hline \end{array} \right]$ (OTHERS)メニュー →
 [ASSIGN BUTTON]を選ぶ。



3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して
 設定したいASSIGNボタンを選
 び、押して決定する。

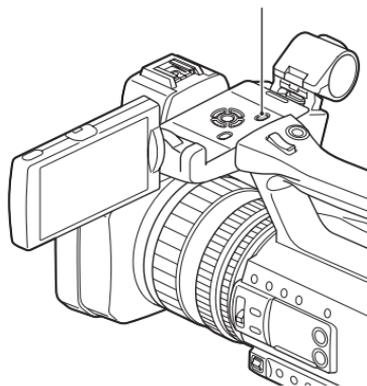
4 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して
 割り当てる機能を選び、押して決
 定する。

5 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタン[B]を押して
 [OK]を選び、押して決定する。

再生する

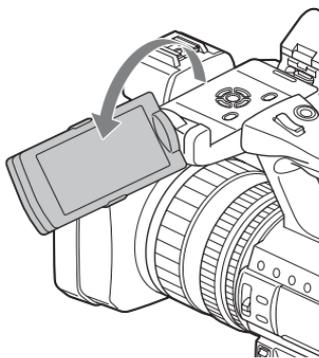
本機で再生する

THUMBNAILボタン



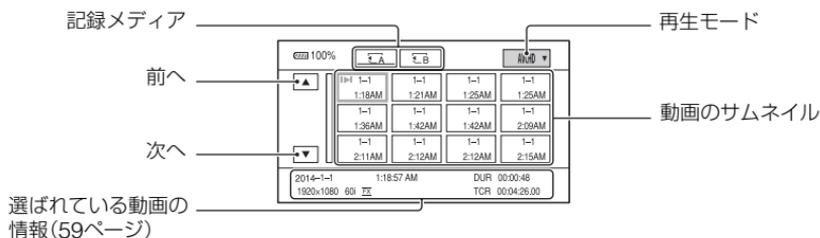
動画を再生する

- 1 液晶モニターを開く。



2 THUMBNAILボタンを押す。

数秒後にTHUMBNAIL画面が表示されます。



- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。

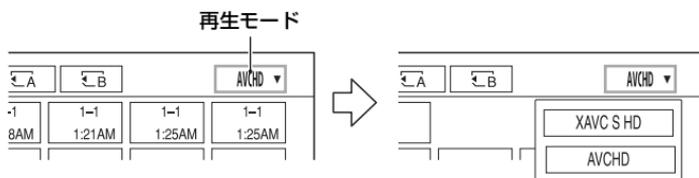
3 動画を再生する。

- ① 再生したい記録メディアを選択して、SETボタンを押す。

C.A : メモリーカード A

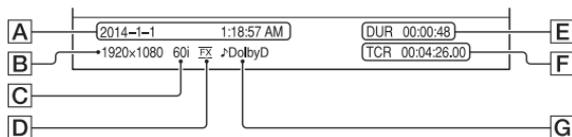
C.B : メモリーカード B

- ② 再生モードを選択する。



- ③ 再生したいサムネイルを選択して、SETボタンを押す。

サムネイルを選択すると画面の下部に動画の情報が表示されます。



- [A] 撮影開始日時
- [B] 動画の解像度
- [C] フレームレート
- [D] 録画モード
- [E] 動画記録時間

本機で再生する(つづき)

F 記録開始タイムコード

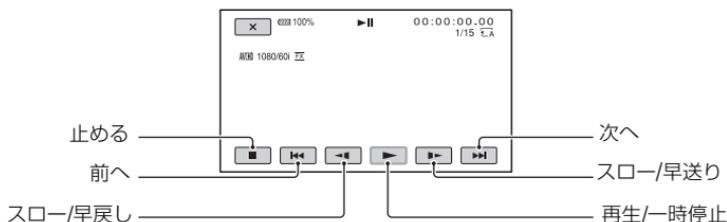
タイムコードが記録されていないメモリーカードや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

G DOLBY DIGITAL 記録

音声ドルビーデジタル方式で記録されている場合に 표시됩니다。

- 最後に再生・撮影した動画に▶▶が表示されます。選択すると前回の続きから再生されます。

動画の再生が始まります。



📢ご注意

- DVファイルはDVモードに設定しているときのみ再生できます。

💡ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、THUMBNAIL画面に戻ります。
- 一時停止中に◀▶を選択すると、スロー再生が始まります。
- 再生中、⏪/⏩を選択する回数によって、より高倍速に再生されます。
- DVモードでは、SCAN/SLOWは無効になります。
- DVモードでは、再生中の早戻し、早送りは約5倍速で再生されます。
- 本機以外の機器で撮影されたDVファイルを再生する場合、F値は正しく表示されない場合があります。

音量を調節するには

MENUボタンを押して、🎵 (AUDIO SET) → [VOLUME]で調節する。

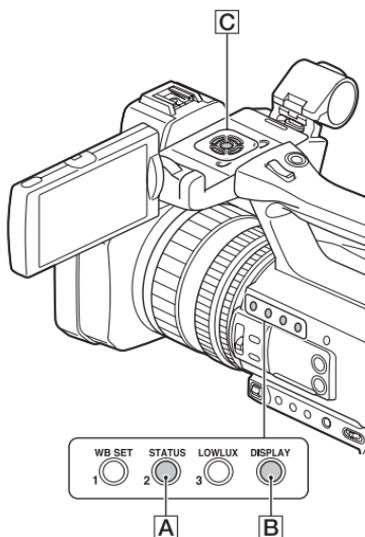
撮影モードに戻すには

THUMBNAILボタンを押す。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録したDVの動画は、他社製のAV機器では再生できません。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン[B]を押す。

押すたびに、非表示 ↔ 表示と切り換わります。撮影モードのときは、詳細表示 → 簡易表示 → 非表示の順に切り換わります。

👁️ちよつと一言

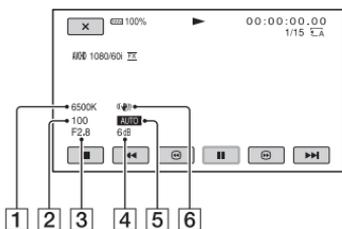
- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(86ページ)。

再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

■ (DISPLAY SET)メニュー
→ DATA CODEで表示したいデータを選ぶか、再生または一時停止中にDATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押す。

押すたびに、日付時刻表示 → カメラデータ → 表示なしの順に切り換わります。



- 1 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。
- 2 シャッタースピード
- 3 アイリス
- 4 ゲイン
- 5 明るさ調節
アイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動調整で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。
- 6 手ブレ補正

📌ご注意

- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

本機の設定を変更/確認する(つづき)

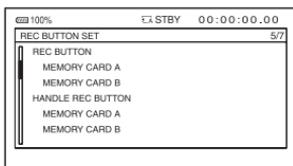
本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- 音声に関する設定(81ページ)
- 出力に関する設定(79ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(56ページ)
- カメラに関する設定(75ページ)
- 録画ボタン設定(30ページ)
- メモリーカード情報
- バッテリーインフォ

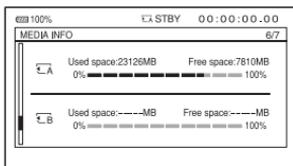
● 録画ボタン設定

録画ボタンの設定を確認できます。



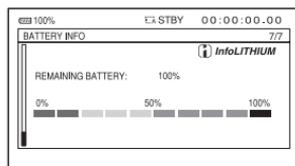
● メモリーカード情報

使用領域と空き領域の目安を確認できます。



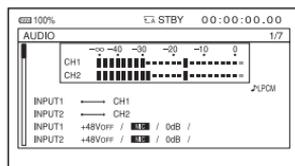
● バッテリーインフォ

装着しているバッテリー残量を確認できます。



ASSIGN2/STATUSボタン[A]に[STATUS CHECK]が割り当てられています(56ページ)。

1 ASSIGN2/STATUSボタン[A]を押す。



2 上/下/左/右/SET ボタン[C]を押して、項目を表示する。

AUDIO → OUTPUT → ASSIGN → CAMERA → REC BUTTON SET → MEDIA INFO → BATTERY INFOの順に切り換わります。

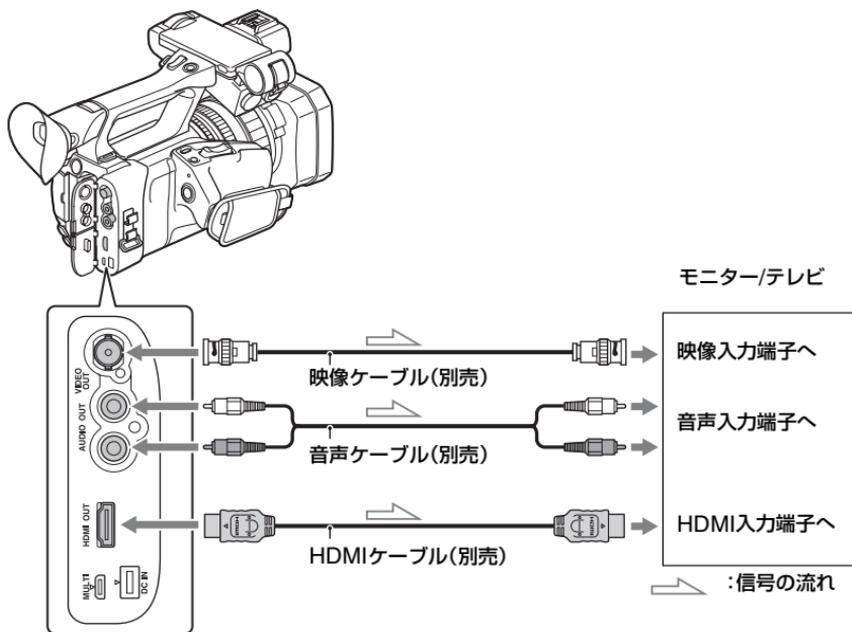
起動時の条件によって、表示されないものもあります。

情報表示を消すには

ASSIGN2/STATUSボタン[A]を押す。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。



再生する

ⓘ ご注意

- ビデオ信号は、HDMI OUT端子とVIDEO OUT端子から同時に出力できません。
- VIDEO OUTの出力解像度は60iのとき480i、50iのとき576iになります。

出力解像度について

撮影モードや[HDMI]の設定によって、出力解像度が変わります。

[60i のとき]

HD/DV	[HDMI]の設定	出力解像度	
		HDMI OUT	VIDEO OUT
HD	1080p/480i	1080p*	480i
	720p/480i	720p	480i
	1080i/480i	1080i	480i
	480p	480p	480i
	480i	480i	480i
DV	1080p/480i	480i	480i
	720p/480i	480i	480i
	1080i/480i	480i	480i
	480p	480p	480i
	480i	480i	480i

[50i のとき]

HD/DV	[HDMI]の設定	出力解像度	
		HDMI OUT	VIDEO OUT
HD	1080p/576i	1080p*	576i
	720p/576i	720p	576i
	1080i/576i	1080i	576i
	576p	576p	576i
	576i	576i	576i
DV	1080p/576i	576i	576i
	720p/576i	576i	576i
	1080i/576i	576i	576i
	576p	576p	576i
	576i	576i	576i

* [REC FORMAT]で、フレームレートの値が24でプログレッシブスキャン方式の設定値を選んで撮影した動画の場合、[VIDEO OUT]の[24p OUTPUT]の設定によって出力される解像度が以下のように変わります。

出力解像度	
24p OUTPUT	HDMI OUT
24p	1080/24p
60p	1080/60p

📢ご注意

- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI OUT端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因になります。
- [REC FORMAT]のフレームレートが24pまたは30p(60i のとき)もしくは25p(50i のとき)の場合、プルダウン方式でインターレース信号もしくはプログレッシブ信号のどちらかに変換して出力されます。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。

💡ちょっと一言

- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とはテレビ接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

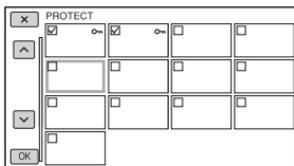
動画を保護する(プロテクト)

動画を誤って削除してしまうことを防げます。

1 THUMBNAIL画面でMENUボタンを押す。

2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンを押して
 \square (EDIT)メニュー →
 [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画を選ぶ。
 画像に✓マークが表示されます。



- DISPLAYボタンを長押しすると、プレビューできます。 \square で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

4 \square → \square → \square を選ぶ。

プロテクトを解除するには

手順**3**で✓マークがついている動画を選ぶ。

✓マークが消えます。

ⓘ ご注意

- DVIはプロテクトできません。

動画を分割する

指定した場所で動画を分割できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ /SET ボタンを押して
 \square (EDIT)メニュー →
 [DIVIDE]を選ぶ。

3 分割したい場所でIIを選ぶ。

IIで場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 \square → \square を選ぶ。

ⓘ ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、IIで決定した分割点と実際の分割点とは若干のずれが生じることがあります。
- DVとXAVC S HDは分割できません。

動画を削除する

不要な動画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。

📌ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(66ページ)。
- 大切な動画は、あらかじめパソコンなどに保存してください。

💡ちょっと一言

- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(68ページ)。

- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

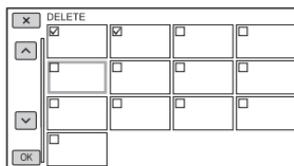
4 OK → OK → OK を選ぶ。

1 THUMBNAIL画面でMENUボタンを押す。

2 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ /SET ボタンを押して
 (EDIT)メニュー →
 [DELETE] を選ぶ。

3 削除する動画を選ぶ。

画像に✓マークが表示されます。



- DISPLAYボタンを長押しすると、プレビューできます。 で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に🔒が表示されます。

メモリーカードを初期化する

初期化とはメモリーカード内のデータを削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。

④ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画も削除されます。

1 MENUボタンを押す。

2 / / SET ボタンを押して (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

3 初期化するメモリーカードを選ぶ。

4 → を選ぶ。

④ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプターを取り外したりしないでください(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します)。

メモリーカードのデータを完全に消去する

メモリーカードは繰り返し使用すると”ごみ”データが蓄積し、保証された速度で書き込みができなくなることがあります。その結果、撮影中に記録が停止してしまう恐れがあります。

通常の「メディア初期化」ではなく、すべてのデータを削除する「データ消去」を実行することで、撮影時のメディア書き込みエラーを極力削減できます。

④ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 本機をACアダプター(付属)を使ってコンセントにつなぐ(20ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 / / SET ボタンを押して (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

4 初期化するメモリーカードを選ぶ。

初期化の画面が表示されます。

管理ファイルを修復する

管理情報とメモリーカードの動画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

⚠️ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

5 [Empty] → OK を選ぶ。

⚠️ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

💡ちょっと一言

- メディアへのデータ書き込みエラーを予防するには、撮影前にカムコーダーでメディアデータ消去を実行してください。通常の「MEDIA FORMAT」ではなく、すべてのデータを削除する[Empty]を実行することで、撮影時のメディア書き込みエラーを極力削減できます。

1 MENUボタンを押す。

2 ///SET ボタンを押して (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE] を選ぶ。

3 管理ファイルを確認するメモリーカードを選ぶ。

4 OK を選ぶ。

管理ファイルの確認が始まります。不整合が見つからなかった場合は、OKを選んで終了してください。

5 OK → OK を選ぶ。

⚠️ご注意

- [Repairing the image database file.]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

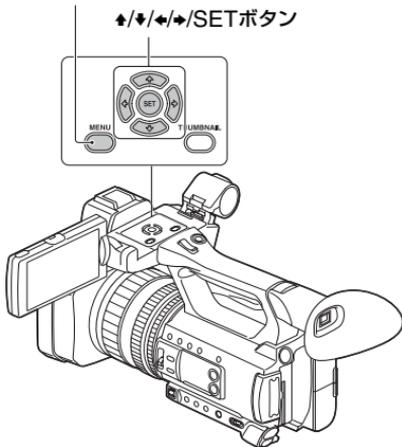
メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

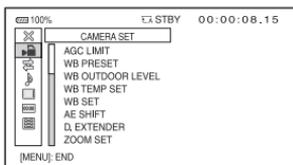
MENUボタン

↑/↓/←/→/SETボタン



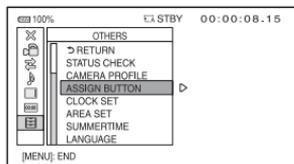
1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

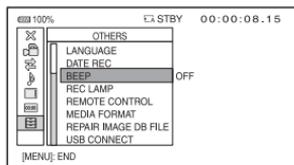


2 ↑/↓/←/→/SET ボタンを押してメニューアイコンを選び、押して決定する。

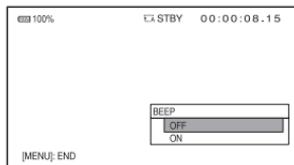
- CAMERA SET (75ページ)
- REC/OUT SET (79ページ)
- AUDIO SET (81ページ)
- DISPLAY SET (83ページ)
- TC/UB SET (87ページ)
- OTHERS (88ページ)
- EDIT (75ページ)



3 ↑/↓/←/→/SET ボタンを押して設定する項目を選び、押して決定する。



4 ↑/↓/←/→/SET ボタンを押して希望の設定を選び、押して決定する。



5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[↩ RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

🔔ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選択できない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。

(CAMERA SET) (75ページ)

AGC LIMIT	▶OFF、24dB ~ 0dB
WB PRESET	▶OUTDOOR、 INDOOR、MANU WB TEMP
WB OUTDOOR LEVEL	-7 ~ +7 (▶0)
WB TEMP SET	2300K ~ 1500K (▶6500K)
WB SET	
AE SHIFT	ON/OFF ▶OFF、ON LEVEL -2.0EV ~ +2.0EV (▶0EV)
D.EXTENDER	▶OFF、ON
ZOOM SET	ZOOM TYPE ▶OPTICAL ZOOM ONLY、ON [CLEAR IMAGE ZOOM]、ON [DIGITAL ZOOM] HANDLE ZOOM ZOOM OPERATION ▶ON、OFF ZOOM SPEED 1 ~ 8 (▶3)
 STEADY SHOT	▶STANDARD、 ACTIVE、OFF
CONVERSION LENS	▶OFF、 WIDE CONVERSION
S&Q MOTION	【AVCHD】 REC FORMAT 60i のとき： 1080/60p PS 1080/30p FX 1080/30p FH ▶1080/24p FX 1080/24p FH 50i のとき： 1080/50p PS ▶1080/25p FX 1080/25p FH FRAME RATE 1~60fps (▶60fps)
AUTO MODE SET	▶AUTO、 INTELLIGENT AUTO、 SCENE SELECTION

SCENE SELECTION SET	NIGHT SCENE、 SUNRISE&SUNSET、 FIREWORKS、 LANDSCAPE、 ▶PORTRAIT、 SPOTLIGHT、BEACH
AUTO BACK LIGHT	▶OFF、ON
FACE DETECTION	▶OFF、ON
VIDEO LIGHT	▶POWER LINK、REC LINK、REC LINK+STBY、AUTO
NIGHTSHOT LIGHT	▶ON、OFF
COLOR BAR	ON/OFF ▶OFF、ON TONE ▶OFF、ON
PICTURE PROFILE	45 ページをご覧ください。



(REC/OUT SET) (79ページ)

REC SET

FILE FORMAT
 XAVC S HD.
 ▶AVCHD

REC FORMAT
 XAVC S HD
 60i のとき：
 1080/60p 50Mbps.
 1080/30p 50Mbps.
 1080/24p 50Mbps.

50i のとき：
 1080/50p 50Mbps.
 1080/25p 50Mbps.

AVCHD
 60i のとき：
 1080/60p PS.
 ▶1080/60i FX.
 1080/60i FH.
 1080/60i HQ.
 1080/30p FX.
 1080/30p FH.
 1080/24p FX.
 1080/24p FH.
 720/60p FX.
 720/60p FH.
 720/60p HQ

50i のとき：
 1080/50p PS.
 ▶1080/50i FX.
 1080/50i FH.
 1080/50i HQ.
 1080/50i LP.
 1080/25p FX.
 1080/25p FH.
 720/50p FX.
 720/50p FH.
 720/50p HQ

SIMUL/RELAY REC
 ▶OFF.
 SIMULTANEOUS
 REC. RELAY REC

REC BUTTON SETTING

▶REC BUTTON：
A B、
 HANDLE REC
 BUTTON：A
B / REC
 BUTTON：A、
 HANDLE REC
 BUTTON：B /
 REC BUTTON：
B、HANDLE
 REC BUTTON：A

DV MODE

WIDE REC
 ON、▶OFF

CANCEL DV MODE

VIDEO OUT

HDMI

60i のとき：
 1080p/480i、720p/
 480i、▶1080i/480i、
 480p、480i
 50i のとき：
 1080p/576i、720p/
 576i、▶1080i/576i、
 576p、576i
 24p OUTPUT*1

24p、▶60p
 DOWN CONVERT
 TYPE

▶SQUEEZE、
 LETTER BOX
 (16:9)、EDGE
 CROP

WIDE CONVERT

▶SQUEEZE、
 LETTER BOX
 (16:9)、EDGE
 CROP

HDMI TC OUTPUT

▶OFF、ON
 HDMI REC CONTROL
 ▶OFF、ON



(AUDIO SET) (81ページ)

VOLUME

AVCHD AUDIO
 FORMAT

▶LINEAR PCM、
 DOLBY DIGITAL

AUDIO LIMIT

▶OFF、ON

INT MIC SET

INT MIC SENS
 ▶NORMAL、HIGH
 INT MIC WIND
 ▶OFF、ON

メニュー一覧(つづき)

XLR SET	INPUT CH SELECT INPUT1/INPUT1、 ▶INPUT1/INPUT2 XLR AGC LINK ▶SEPARATE、 LINKED INPUT1 TRIM -18dB ~ +12dB (▶0dB) INPUT1 WIND ▶OFF、ON INPUT2 TRIM -18dB ~ +12dB (▶0dB) INPUT2 WIND ▶OFF、ON
---------	---



(DISPLAY SET) (83ページ)

HISTOGRAM	▶OFF、ON、ON [ZEBRA POINT]
ZEBRA	ON/OFF ▶OFF、ON LEVEL 70 ~ 100、100+ (▶70)
PEAKING	ON/OFF ▶OFF、ON COLOR ▶WHITE、RED、 YELLOW LEVEL HIGH、▶MIDDLE、 LOW
MARKER	ON/OFF ▶OFF、ON CENTER ▶ON、OFF ASPECT ▶OFF、4:3、13:9、 14:9、15:9、1.66:1、 1.85:1、2.35:1 SAFETY ZONE ▶OFF、80%、90% GUIDEFRAPE ▶OFF、ON
FOCUS MAG RATIO	x4.0、x8.0、▶x4.0/ x8.0
CAMERA DATA DISPLAY	OFF、▶ON
AUDIO LEVEL DISPLAY	▶ON、OFF
ZOOM DISPLAY	▶BAR、NUMBER

FOCUS DISPLAY	▶METER、FEET
SHUTTER DISPLAY	▶SECOND、DEGREE
DATA CODE	▶OFF、DATE/TIME、 CAMERA DATA
LCD BRIGHT	▶NORMAL、BRIGHT
VF BRIGHT	▶NORMAL、BRIGHT
DISPLAY OUTPUT	▶LCD PANEL、 ALL OUTPUT

🗨️ちよつと一言

- [DATA CODE]は、再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。
- 「LCD BRIGHT」は、バッテリー使用時のみ選択できます。ACアダプター使用時にはグレー表示となります。



(TC/UB SET) (87ページ)

TC/UB DISPLAY	▶TC、U-BIT
TC PRESET	PRESET、RESET
UB PRESET	PRESET、RESET
TC FORMAT*1	▶DF、NDF
TC RUN	▶REC RUN、 FREE RUN
TC MAKE	▶PRESET、 REGENERATE
UB TIME REC	▶OFF、ON



(OTHERS) (88ページ)

STATUS CHECK	
CAMERA PROFILE	MEMORY CARD A、 MEMORY CARD B
ASSIGN BUTTON	ASSIGN1、ASSIGN2、 ASSIGN3、ASSIGN4、 ASSIGN5
CLOCK SET	
AREA SET	
SUMMERTIME	▶OFF、ON
LANGUAGE	
DATE REC	▶OFF、ON
BEEP	▶OFF、ON
REC LAMP	▶ON、OFF
REMOTE CONTROL	▶ON、OFF
MEDIA FORMAT	MEMORY CARD A、 MEMORY CARD B
REPAIR IMAGE DB FILE	MEMORY CARD A、 MEMORY CARD B

USB CONNECT
USB LUN SET ▶MULTI、SINGLE
OPERATION TIME
VERSION DISPLAY
INITIALIZE



(EDIT)

PROTECT
DIVIDE
DELETE

*1 60iのときのみ設定できます。

💡ちよつと一言

- [EDIT]は、THUMBNAIL画面や、再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

📷 (CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(⌘
STEADY SHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は70ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → ⬆/⬇/⬅/➡/SET ボタンで、📷 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

AGC LIMIT(AGCリミット)

オートゲインコントロール(AGC)の上限值を選びます。

▶OFF、24dB~0dB(3dB単位)

📌ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

WB PRESET(WBプリセット)

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは39ページをご覧ください。

WB OUTDOOR LEVEL(WB屋外レベル)

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]のときのオフセット量を設定します。

-7~▶0~+7

(青め~標準~赤め)

(CAMERA SET)メニュー(つづき)

WB TEMP SET(WB色温度設定)

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。

2300K～▶6500K～15000K(100K単位)

WB SET(WBワンタッチ取込)

39ページをご覧ください。

AE SHIFT(AEシフト)

■ ON/OFF

▶ OFF

AEシフト機能を使わない。

ON

AEシフト機能を使う。設定した数値が表示されます(例:-2.0EV)。

■ LEVEL

▲/▼/◀/▶/SET ボタンで明るさを調節できます。

-2.0EV～▶0EV～+2.0EV
(暗い～標準～明るい)

📌 ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。

🗨️ ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

D.EXTENDER(デジタルエクステンダー)

2倍に拡大して撮影します。

▶ OFF

拡大機能を使わない。

ON(DIG.EXT)

拡大機能を使う。

🗨️ ちょっと一言

[ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

ZOOM SET(ズーム設定)

■ ZOOM TYPE

▶ OPTICAL ZOOM ONLY

光学ズームのみ使用する。
12倍までズームできます。

ON[CLEAR IMAGE ZOOM]

光学ズームに加え、全画素超解像ズームも使用できる。
光学ズーム12倍を含む24倍までズームできます。

ON[DIGITAL ZOOM]

光学ズーム、全画素超解像ズームに加え、デジタルズームも使用できる。
📍が表示されている範囲は画質が劣化しますが、最大192倍までズーム出来ます。

🗨️ ちょっと一言

- 全画素超解像ズーム(CLEAR IMAGE ZOOM)とは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。
- デジタルズーム中は、顔検出が無効になります。

■ HANDLE ZOOM

ZOOM OPERATION

▶ ON

ハンドルズームをONにする

OFF

ハンドルズームをOFFにする

ZOOM SPEED

ズームスピード(1～▶3～8)

STEADYSHOT(手ブレ補正)

撮影時の手ブレ軽減の設定をします。

▶ STANDARD(標準)

比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

▶ ACTIVE(アクティブ)

強い手ブレ補正効果が得られる。

▶ OFF(オフ)

手ブレ補正機能を使わない。
三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

📌 ご注意

- [ACTIVE]設定時は、画角が1.08倍テレシフトします。

🗨️ ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

CONVERSION LENS(コンバージョンレンズ)

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

▶ OFF

コンバージョンレンズを使わない。

▶ WIDE CONVERSION

ワイドコンバージョンレンズを使う。

S&Q MOTION(スロー&クイックモーション)

53ページをご覧ください。

AUTO MODE SET(オートモード設定)

43ページをご覧ください。

SCENE SELECTION SET(シーンセレクション設定)

43ページをご覧ください。

AUTO BACK LIGHT(自動逆光補正)

自動で逆光補正をします。

▶ OFF

逆光補正を行わない。

▶ ON

自動で逆光補正を行う。

FACE DETECTION(顔認識)

33ページをご覧ください。

VIDEO LIGHT(ビデオライト)

マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライト(別売)の点灯方式を設定します。

▶ POWER LINK

本機の電源の入/切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。

▶ REC LINK

本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。

▶ REC LINK+STBY

本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

▶ AUTO

自動で点灯する。

NIGHTSHOT LIGHT (NIGHTSHOTライト)

NIGHTSHOT(44ページ)撮影時に赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録することができます。

▶ ON

赤外線ライトを発光する。

OFF

発光しない。

📌ご注意

- 赤外線発光部(6ページ)を指などで覆わないでください。
- ライトが届く範囲は、約3メートルです。

COLOR BAR(カラーバー)

■ ON/OFF

▶ OFF

カラーバーを表示しない。

ON

カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。

本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

📌ご注意

- フォーマットを切り換えたり、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF]に戻ります。
- 録画中および拡大フォーカス中、[COLOR BAR]の設定は変更することができません。

■ TONE

▶ OFF

音声トーン信号を出力しない。

ON

音声トーン信号(1kHz:フルビット-20dB([60i]選択時)、-18dB([50i]選択時))を出力する。

[ON/OFF]も[ON]に設定してください。

📌ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。
- [TONE]を[OFF]にしてカラーバーを記録した場合、マイクからの音声も記録されます。

PICTURE PROFILE

45ページをご覧ください。

↻ (REC/OUT SET) メニュー

録画、入出力に関する設定(REC SET/
VIDEO OUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は70ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → ▶/◀/▶/SET ボタンで、↻ (REC/OUT SET)を選択すると表示されます。

REC SET(録画設定)

■ REC FORMAT

34ページをご覧ください。

■ SIMUL/RELAY REC

30ページをご覧ください。

■ REC BUTTON SET

30ページをご覧ください。

■ DV MODE

35ページをご覧ください。

■ WIDE REC

DVで録画する場合のアスペクト比を設定します。

▶ OFF(4:3)

4:3で記録する。

ON

16:9で記録する。

ⓘ ご注意

- DV以外で録画する場合は、アスペクト比は16:9に固定され、4:3にできません。

■ CANCEL DV MODE

35ページをご覧ください。

VIDEO OUT(映像出力)

■ HDMI

HDMI端子からの出力信号の解像度を選びます。

60iのとき:

1080p/480i

720p/480i

▶ 1080i/480i

480p

480i

50iのとき:

1080p/576i

720p/576i

▶ 1080i/576i

576p

576i

💡 ちよつと一言

- 接続するケーブルによる出力信号の解像度は64ページをご覧ください。

■ 24p OUTPUT(60iのとき)

[REC FORMAT]で、フレームレートの値が24でプログレッシブスキャン方式の設定値を選んでいるときの出力フォーマットを設定します。

24p

24pで出力します。

▶ 60p

60pで出力します。

ⓘ ご注意

- HDMIが1080p/480i時のみ有効です。

(REC/OUT SET)メニュー(つづき)

■ DOWN CONVERT TYPE

映像信号出力形式を設定します。
16:9で撮影された動画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX(16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

■ WIDE CONVERT

映像信号出力形式を設定します。
[ WIDE REC]を[ON]にして録画したDV動画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX(16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

ご注意

- [ WIDE REC]を[ON]にしてDVで撮影した動画を4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[LETTER BOX(16:9)]または[EDGE CROP]に設定してください。
- [SQUEEZE]からその他の設定、その他の設定から[SQUEEZE]に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声途切れます。

■ HDMI TC OUTPUT

HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかの設定ができます。

▶ OFF

タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せない。

ON

タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せる*。画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができます。

* 24pのときは、2-3PullDownを行って、その情報を自動付加して伝送します。

■ HDMI REC CONTROL

本機と外部レコーダーをつなぐと、本機の操作で外部レコーダーへ録画の開始/停止を行います。

▶ OFF

本機の操作で録画を行わない。

ON

本機の操作で録画を行う。

♪ (AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定(AVCHD AUDIO FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
操作方法は70ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → ▲/▼/◀/▶/SET ボタンで、♪ (AUDIO SET)を選択すると表示されます。

VOLUME

音量を調整します。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

AVCHD AUDIO FORMAT (AVCHD録音フォーマット)

ハイビジョン画質(HD)時の記録音声フォーマットを切り換えます。

▶ LINEAR PCM (♪LPCM)
LPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL (♪DolbyD)
ドルビーデジタル方式で記録する。

📌ご注意

- 上記の切り換えができるのは、録画フォーマットがAVCHDのときのみです。

AUDIO LIMIT(音声リミッター)

CH-1/CH-2に音割れ防止機能の設定をします。

▶ OFF
音割れ防止機能が働かない。

ON
音割れ防止機能が働く。

📌ご注意

- AUTO/MAN(CH-1/CH-2)スイッチが「MAN」のときのみ有効です。

INT MIC SET(INT MIC設定)

■ INT MIC SENS

内蔵マイク使用時の録音感度を設定します。

▶ NORMAL

業務用機器で一般的に使われる感度。

HIGH

民生用機器で一般的に使われる感度。

■ INT MIC WIND

内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。

▶ OFF

風音低減を行わない。

ON(☑)

風音低減を行う。

XLR SET(XLR設定)

■ INPUT CH SELECT

CH-1とCH-2のそれぞれに、どの信号を記録するかを選択します(40ページ)。

INPUT1/INPUT1

CH-1、CH-2ともINPUT1の入力を記録する。

▶ INPUT1/INPUT2

CH-1にはINPUT1の信号を、CH-2にはINPUT2の信号をそれぞれ記録する。

(AUDIO SET) メニュー(つづき)

■ XLR AGC LINK

外部マイク使用時のCH-1/CH-2のAGC(オートゲインコントロール)の連動/非連動を切り換えます。

▶ SEPARATE

AGC非連動にする(CH-1/CH-2を別々の音声として記録する)。

LINKED()

AGC連動にする(CH-1/CH-2をステレオのように1組の音声として記録する)。ステータスチェック画面に **A**  が表示されます。

📌ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH-1/CH-2ともに「AUTO」で、INPUT1/INPUT2スイッチが両方も「LINE/MIC/MIC+48V」から同じ音源を選択したときに有効です(40ページ)。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときの入力信号のレベルを調節します。

-18dB、-12dB、-6dB、▶0dB、+6dB、+12dB

📌ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしない。

ON

INPUT1端子の風音低減をする。
ステータスチェック画面に **W**  が表示されます。

📌ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

🗨️ちょっと一言

- 本機は、録音レベルを「AUTO」設定時に、INPUT TRIMを[0dB]に設定すると、-48dBu入力時に音量を基準録音レベルで記録するように設計されています。
たとえば、感度-30dB(0dB=1V/Pa、1kHz)のマイクを接続して、1kHz、74dB SPLの音圧を入力するとき(マイクの出力は-48dBuとなる)は、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。
また感度-36dBのマイクを使用する場合、INPUT TRIMを[+6dB]に設定すると、感度-30dBマイクとの感度の差異を吸収することができます。
- INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ理由として、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめ[XLR SET]の効果をテストしてご使用ください。

■ (DISPLAY SET)

メニュー

画面/ファインダーの表示設定
(MARKER/DISPLAY OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は70ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → ▲/▼/◀/▶/SET ボタンで、■ (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

HISTOGRAM(ヒストグラム)

ヒストグラムは、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

ON

ヒストグラムを表示する。

100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。



ヒストグラム

ON[ZEBRA POINT]

ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。[ZEBRA]で設定されているレベルにラインが表示される。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

ZEBRA(ゼブラ)

明るさ調節をするときの目安にすると便利です。

■ ON/OFF

▶ OFF

ゼブラを表示しない。

ON(■とレベル)

記録した画像にゼブラは記録されません。

■ LEVEL

輝度レベルを選べます。

▶70~100または100+

💡ちょっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

PEAKING(ピーキング)

■ ON/OFF

▶ OFF

ピーキングを表示しない。

ON(PEAKING)

画面上に画像の輪郭が強調して表示される。ピントが合わせやすくなります。

■ COLOR

ピーキングの色を選べます。

▶WHITE、RED、YELLOW

■ LEVEL

ピーキング感度を選べます。

HIGH、▶MIDDLE、LOW

(DISPLAY SET)メニュー(つづき)

🔔ご注意

- 輪郭強調された画像はメモリーカードに記録されません。

🗨ちよつと一言

- 拡大フォーカス(32ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

MARKER(マーカー)

■ ON/OFF

▶ OFF

マーカーを表示しない。

ON

マーカーを表示する。
マーカーはメモリーカードに記録されません。

■ CENTER

▶ ON

画面の中心にマーカーを表示する。

OFF

センターマーカーを表示しない。



■ ASPECT

▶ OFF

アスペクト比を表示しない。

4.3:1、13:9、14:9、15:9、1.66:1、
1.85:1、2.35:1

アスペクト比位置にマーカーを表示する。



■ SAFETY ZONE

▶ OFF

セーフティゾーンを表示しない。

80%、90%

どれかを選ぶと、一般的な家庭用テレビで受信できる範囲を選んでマーカーを表示する。



■ GUIDEFAME

▶ OFF

ガイドフレームを表示しない。

ON

ガイドフレームを表示する。
被写体が水平/垂直になっているかを確認できます。



🔔ご注意

- マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしても、タイムコード以外は何も出力されません。
- [FOCUS MAGNIFIER]中は、マーカーを表示できません。
- マーカー表示は、外部に出力することはできません。

🗨ちよつと一言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- [GUIDEFAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

FOCUS MAG RATIO(拡大フォーカス倍率)

拡大フォーカスの倍率を設定できます。

×4.0

×8.0

▶ ×4.0/×8.0

ASSIGN5/FOCUS MAGボタンを押すたびに[×4.0]→[×8.0]→[OFF]の順に切り換わります。

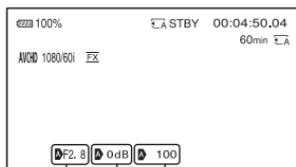
CAMERA DATA DISPLAY(カメラデータ表示)

OFF

アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を表示しない。

▶ ON

アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示する。



アイリス値 シャッタースピード値
ゲイン値

💡ちよつと一言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、手動設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- DATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示される項目とは異なります(61ページ)。
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

AUDIO LEVEL DISPLAY(音声レベル表示)

▶ ON

オーディオレベルメーターを表示する。



オーディオレベルメーター

OFF

オーディオレベルメーターを表示しない。

💡ちよつと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

ZOOM DISPLAY(ズーム表示)

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値で表示する。

FOCUS DISPLAY(フォーカス表示)

▶ METER

フォーカス距離をメートルで表示する。

FEET

フォーカス距離をフィートで表示する。

SHUTTER DISPLAY(シャッター表示)

▶ SECOND

シャッター表示を秒で表示する。

DEGREE

シャッター表示を角度で表示する。

本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを360°と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。

60iのとき:

- [REC FORMAT]でフレームレートの値が60の設定値を選択時は、1/60で360°
- [REC FORMAT]でフレームレートの値が30の設定値を選択時は、1/30で360°
- [REC FORMAT]でフレームレートの値が24の設定値を選択時は、1/24で360°

50iのとき:

- [REC FORMAT]でフレームレートの値が50の設定値を選択時は、1/50で360°
- [REC FORMAT]でフレームレートの値が25の設定値を選択時は、1/25で360°

[REC FORMAT]の設定について詳しくは、34ページをご覧ください。

📌ご注意

- DATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定に関わらず秒表示となります。

🗨ちよっと一言

- 360°より長いシャッタースピードの場合、360°の整数倍(360° x2など)で表示します。

DATA CODE(日付/データ表示)

再生時に表示する情報を選びます。

▶ OFF

表示しない。

DATE/TIME

日付時刻を表示する。

CAMERA DATA

カメラデータを表示する。

🗨ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

LCD BRIGHT(パネルの明るさ)

液晶モニターの明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

▶ NORMAL

BRIGHT

VF BRIGHT(ファインダーの明るさ)

ファインダーの明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

▶ NORMAL

BRIGHT

DISPLAY OUTPUT(画面表示出力)

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

液晶モニターに出力する。

ALL OUTPUT

HDMI OUT/VIDEO OUTの各端子と液晶モニターに出力する。ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。

📌ご注意

- [MARKER]が[ON]で、画面に表示されているときは、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は70ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → ▲/▼/◀/▶/SET ボタンで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

TC/UB DISPLAY(TC/UB 表示)

表示をタイムコードまたはユーザービットに切り換えます。

▶ TC

タイムコードを表示する。

U-BIT

ユーザービットを表示する。

💡ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができません(56ページ)。

TC PRESET

52ページをご覧ください。

UB PRESET

52ページをご覧ください。

TC FORMAT

60iのときにタイムコードの記録方式を選びます。50iのときは、[NDF]に固定されます。

▶ DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

💡ご注意

- 60iのときでも、[REC FORMAT]でフレームレートの値を24に設定すると[NDF]に固定されます。

💡ちよっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

💡ご注意

- [REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたととき
 - メモリーカードを取り外したとき

TC MAKE

▶ PRESET

新たに設定したタイムコードをメモリーカードに記録する。

REGENERATE

メモリーカードに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。

[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

📌ご注意

- [ON]のときは、下位2桁は00に固定されます。

撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は70ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → **▲/▼/◀/▶/SET** ボタンで、**目(OOTHERS)**を選択すると表示されます。

STATUS CHECK

62ページをご覧ください。

CAMERA PROFILE(カメラプロフィール)

カメラの設定内容をカメラプロフィールとしてメモリーカードに99個まで保存できます。保存した設定を使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

また、本機を複数台同じ設定で使用したい場合に、設定値をメモリーカードに保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出すことができます。

📌ご注意

- 60iと50iのカメラプロフィールには互換性はありません。
- パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。
- メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロフィールも削除されます。

🗨️ちょっと一言

- カメラプロフィールで保存される項目は、メニュー、ピクチャープロフィール、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロフィールに保存します。

■ LOAD

カメラプロフィールを読み込んで、設定を実行します。

- ① **▲/▼/◀/▶/SET** ボタンで読み込むカメラプロフィールを選ぶ。

- ② 確認画面で[YES]を選択する。
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロファイルが反映されます。

🔔ご注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロファイルやパソコンなどで編集したカメラプロファイルは読み込めません。

■ SAVE

カメラプロファイルを保存します。

- ① **▶/◀/↔/▶/SET** ボタンで[NEW FILE]、または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ② 確認画面で[YES]を選択する。
カメラプロファイルが保存されます。

🔔ちょっと一言

- [NEW FILE]を選んだ場合、プロファイル名は[01] (初めて保存する場合)になります。
- 既存のカメラプロファイルを保存先に選んだ場合は、上書きされます。
- 保存した設定はパソコンで編集できません。

■ DELETE

保存したカメラプロファイルを削除します。

- ① **▶/◀/↔/▶/SET** ボタンで削除するカメラプロファイルを選ぶ。
- ② 確認画面で[YES]を選択する。

ASSIGN BUTTON(ASSIGN ボタン登録)

56ページをご覧ください。

CLOCK SET(日時合わせ)

21ページをご覧ください。

AREA SET(エリア設定)

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するとき現地時刻に合わせられます。

SUMMERTIME(サマータイム)

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[SUMMERTIME]を[ON]にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムを設定しない。

ON

サマータイムを設定する。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

DATE REC(日付記録)

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

🔔ちょっと一言

- スキャン方式がインターレースのときのみ設定できます。
- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けませんが、録画される文字には影響ありません。

(OTHERS) メニュー(つづき)

BEEP(操作音)

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップの操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

REC LAMP(録画ランプ)

▶ ON

本体の録画ランプが点灯する。

OFF

本体の録画ランプが点灯しない。

👁️ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(56ページ)。

REMOTE CONTROL(リモコン)

▶ ON

付属のワイヤレスリモコン(12ページ)を使う。

OFF

他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンを使わない。

MEDIA FORMAT(メディア初期化)

68ページをご覧ください。

REPAIR IMAGE DB FILE(管理ファイル修理)

69ページをご覧ください。

USB CONNECT(USB接続)

USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT]画面が表示されない場合に使います。

USB LUN SET(USB LUN設定)

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

▶ MULTI

通常はMULTIのまま使用する。

SINGLE

どうしても接続できない場合のみ、こちらにする。

OPERATION TIME(通電時間)

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

VERSION DISPLAY(バージョン表示)

お手持ちのカメラのバージョンを表示します。本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。

📌ご注意

- アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。

INITIALIZE(設定リセット)

日時を含めすべての設定を解除します。

📌ご注意

- ピクチャープロフィールで設定した内容は解除されません。

困ったときは

故障かな?と思ったら

困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 91～97 ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約 1 分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③  (OTHERS)メニュー → INITIALIZE を選ぶ。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…91ページ
- メモリーカードについて…92ページ
- 撮影について…93ページ
- 再生について…95ページ
- テレビ接続について…96ページ
- コピー/編集/外部機器接続について…96ページ
- パソコン接続について…97ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(19ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(19ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
-  (OTHERS)メニュー → INITIALIZEを選ぶ。

本体が温かくなる。

- ご使用中に本体が温かくなりますが故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(19、107ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶モニターを開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

故障かな？と思ったら(つづき)

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い\低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
 - 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(19、107ページ)。
-

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(23ページ)。
-

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(90ページ)。
 - リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
 - 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
 - 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(12ページ)。
-

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
 - 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。
-

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- リモコン側の機器からの操作に対して反応が遅くなる場合があります。
 - 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態ですべての接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合があります。本体側のREMOTE端子を抜いてください。
-

メモリーカードについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(68ページ)。
-

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
 - 本機で対応しているファイル形式を使う(106ページ)。
-

メモリーカードのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。
-

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
 - プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(66ページ)。
-

撮影について

START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(60ページ)。
- メモリーカードの空き容量がない。新しいメモリーカードに変えるか、初期化する(68ページ)。または不要な画像を削除する(67ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(102ページ)。不要な画像を削除する(67ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

ハンドルズームが動かない。

- [HANDLE ZOOM]の[ZOOM OPERATION]をONにする(76ページ)

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなる場合があります(101ページ)。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- 電源が入ったままバッテリーやACアダプターを取り外した。電源を切り、アクセスランプが消灯し電源が切れた事を確かめてから、外してください。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画を開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

アスペクト比が切り換えられない。

- DV以外のときは、動画の比率は切り換えられません。

故障かな？と思ったら(つづき)

オートフォーカスができない。

- マニュアル時に「AUTO」にして自動調整にする(32ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(32ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- FULL AUTOボタンを押してオートモードをオフにする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(37ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーン現象と呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(37ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(37ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]を「-」側に調節する(51ページ)。

タイムコードがつかない。

- [REC FORMAT]の設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTを解除する(44ページ)。

画面が白すぎて画像が見えない。

- FULL AUTOボタンを押してオートモードをオンにする。
- NIGHTSHOTを解除する(44ページ)。

再生について

「メモリーカードについて」(92ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- THUMBNAIL画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと画質を選択する(58ページ)。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- THUMBNAIL画面を表示して、**▲/▼/◆/▶**ボタンで再生したいサムネイルを選択して、SETボタンを押す(59ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(106ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(60ページ)。

[— — —]が表示される。

- [COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

故障かな？と思ったら(つづき)

テレビ接続について

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルでテレビやプロジェクター、AVアンプにつないで再生するとき、映像や音声が出ない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。↔ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE]で映像信号出力形式を選択してください(80ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。故障ではありません。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- [DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(86ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってコピーができない。

- HDMIケーブルを使ってのコピーはできません。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェア「Catalyst Browse」のインストールが必要です。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶モニターまたはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(107ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 91ページの②～④の手順をお試しください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

▲ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

🔋 (ビデオライト関連の警告)

- バッテリーレベルが低下している。

📷 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、25ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(25ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(67ページ)、あらかじめ画像をパソコンなどに保存(バックアップ)してから、メモリーカードを初期化する(68ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(69ページ)。

📷 (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(68ページ)。

📷 (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(25ページ)。

📷 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります(90ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

Inconsistencies found in image database file. Do you want to repair the image database file?

Inconsistencies found in image database file. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the image database file?

- 管理ファイルが破損しているので、動画撮影ができません。[OK]を選んで修復する。

Inconsistencies found in the image database file. Back up and recover. Recover, then import using the included PC software.

- 動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK]を選ぶと動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。修復したあと本機をソフトウェア「Catalyst Browse」をインストールしたパソコンとつなぐと、バックアップされた動画をパソコンに取り込むことができます。ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

Buffer overflow. Writing to the media was not completed in time.

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、[Empty]を行いメモリーカードを完全に消去する(68ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(25ページ)。

Recovering data.

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

 Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

 Cannot recognize this memory card. Format and use again.

- メモリーカードを本機でフォーマットする(68ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(25ページ)。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(25ページ)。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

その他

Maximum number of images already selected.

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除

Protected file. Cannot delete.

- プロテクトされた動画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

満充電からのおよその時間です。

撮影可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F570	170	85
NP-F970	540	270

ご注意

- 録画フォーマット
AVCHD FXモード
- 内蔵マイクを使用し、[VF BRIGHT]が
[NORMAL]のとき
- メモリーカード使用時
- 実撮影時とは、撮影スタート/ストップ、電源
ON/OFFなどを繰り返したときの撮影時間で
す。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそ
れぞれ短くなります。10℃～30℃の環境で使
用することをおすすめします。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間はそれ
ぞれ短くなります。

再生可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	
NP-F570	215

動画の撮影可能時間の目安

XAVC S HD

(単位:分)

	1080
64GB	155 (155)

AVCHD

■ [AVCHD AUDIO FORMAT]の設 定が[LINER PCM]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	185 (145)	295 (250)
32GB	145 (145)	170 (170)	225 (225)	375 (290)	590 (510)
64GB	290 (290)	340 (340)	450 (450)	750 (590)	1190 (1025)

■ [AVCHD AUDIO FORMAT]の設 定が[DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	75 (75)	90 (90)	120 (120)	215 (165)	380 (310)
32GB	150 (150)	180 (180)	245 (245)	440 (330)	770 (630)
64GB	305 (305)	360 (360)	495 (495)	880 (665)	1545 (1260)

記録時間について(つづき)

DV

(単位:分)

	HQ
16GB	70 (70)
32GB	140 (140)
64GB	280 (280)

- ソニー製メモリーカード使用時

📌ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態、[REC SET] (79ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

🗨️ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、XAVC S HDで最大600個、AVCHDで最大3999個、DVで9999個です。
- XAVC S HD連続撮影時間は、約13時間です。(ただし、約6時間で自動分割します。)AVCHD、DVの連続撮影時間は、約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR (Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。
- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。
 - XAVC S HD
50Mbps 1920x1080画素/16:9
 - AVCHD
PS:最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
FX:最大24Mbps 1,920×1,080画素/
16:9、1,280×720画素/16:9
FH:約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/
16:9、1,280×720画素/16:9
HQ:約9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/
16:9、1,280×720画素/16:9
LP:約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/
16:9

- DV

60iのとき:約25Mbps(平均)720×480画素/16:9、4:3
50iのとき:約25Mbps(平均)720×576画素/16:9、4:3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。ACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因になることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
↓		
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビで見るとは

60i、50iそれぞれの設定で見られる国と地域は下記の通りです。

60iのときに見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

50iのときに見られる国と地域

アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、

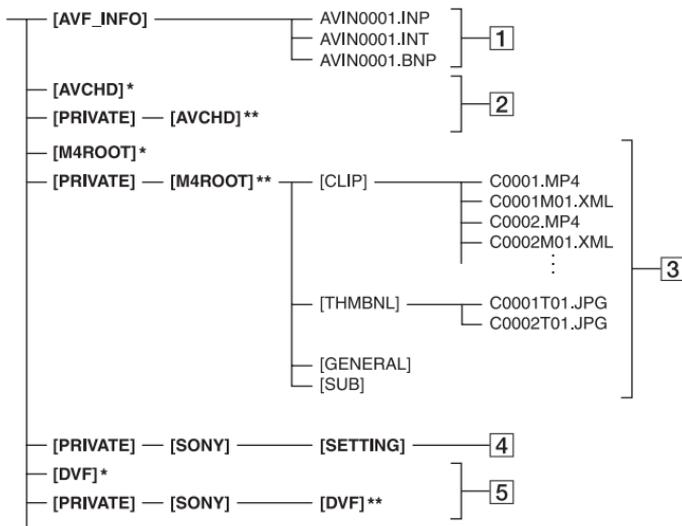
オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージールランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

時差補正機能ついて

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（89ページ）。

メモリーカードのファイル/フォルダ構成

本機のメモリーカード上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* 「メモリースティック PRO デュオ」

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 AVCHD 動画管理情報フォルダ

本フォルダ以下にAVCHDの動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダや、本フォルダ内のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 XAVC S HD 動画管理情報フォルダ

XAVC S HDの動画用記録データが保存されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。

4 カメラプロファイル

カメラプロファイルのデータが保存されません。

5 DV 動画管理情報フォルダ

本フォルダ以下にDVの動画用の記録データが保存されます。パソコンからファイルを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

- パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負い兼ねます。
- 画像ファイルを削除するときは、67ページの手順で行ってください。パソコンから本機のメモリーカード内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機のメモリーカードにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負い兼ねます。

- メモリーカードのデータをパソコンに取り込むには、ソフトウェア「Catalyst Browse」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

XAVC S規格について

本機での記録・再生について

本機ではXAVC S規格に基づき、HD(ハイビジョン)高画質記録ができます。圧縮形式はLong GOP形式です。

映像*: MPEG-4AVC/H.264

60iのとき

1920×1080/60p、1920×1080/30p、

1920×1080/24p

50iのとき

1920×1080/50p、1920×1080/25p

音声: LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は上記以外のXAVC S規格で記録されたデータの再生には対応していません。

AVCHD規格について

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録ができます。

映像*: MPEG-4AVC/H.264

60iのとき

1920×1080/60p、1920×1080/60i、

1920×1080/30p、1920×1080/24p、

1440×1080/60i、1280×720/60p

50iのとき

1920×1080/50p、1920×1080/50i、

1920×1080/25p、1440×1080/50i、

1280×720/50p

音声: ドルビーデジタル 2ch、LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

メモリーカードについて

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体にラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、68ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ” (Mark2)	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応していません。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)の高容量バッテリーNP-F970(別売)がお使いいただけます。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機やACアダプターとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、本機のCHGランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消費しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量表示マーク	%表示
	81%~100%
	51%~80%
	21%~50%
	1%~20%
	—

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶モニターやファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと

- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとうコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないまままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、本機の電源を切って24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]や[DELETE]では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

カードアダプターの使用は動作保証していません。

主な仕様

一般

電源電圧	DC8.4 V(ACアダプター使用時) DC7.2 V(バッテリーパック使用時)
消費電力	ファインダー使用時、 AVCHDで録画中: 約5.2W 液晶モニター使用時、 AVCHDで録画中: 約5.4W
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~+60°C
本体外形寸法(突起部含む)	171.3 mm×187.8 mm× 371.3 mm (突起物、レンズフード、大型 アイカップ、バッテリー(NP- F570)を含む。グリップベル トを含まず。)(幅×高さ×奥 行き)
本体質量	約1.8 kg(本体のみ) 約2.1kg(レンズフード、アイ カップ、バッテリー(NP- F570)を含む)

システム

信号方式	60iのとき: NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、1080/ 60p、720/60p方式 50iのとき: PALカラー、CCIR標準方式 HDTV 1080/50i、1080/ 50p、720/50p方式
ビデオ記録方式	XAVC S HD: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile AVCHD: MPEG-4 AVC/ H.264 AVCHD 2.0準拠

SD画質: DV規格準拠

音声記録方式	XAVC S HD: Linear PCM 2ch、16bit、48kHz AVCHD: Linear PCM 2ch、 16bit、48kHz / Dolby Digital 2ch、16bit、48kHz DV: Linear PCM 2ch、 16bit、48kHz
記録メディア	メモリースティック Proデュ オ™ およびSDカード

カメラ部

撮像素子	1.0型ExmorR CMOSセン サー 総画素数:約2,090万画素 動画時有効画素数(16:9モー ド): 約1,420万画素 動画時有効画素数(4:3モー ド): 約1,060万画素
色温度切り換え	Preset (屋内:3200K、屋外: 5600K±7 steps、色温度: 2300-15000K)、ワンブッ シュ A、B、オート切り換え可 能
最低被写体照度	60i: 7.5ルクス(1/60 シャッ タースピード、絞り/ゲイン AUTO) 50i: 7.5ルクス(1/50 シャッ タースピード、絞り/ゲイン AUTO) 60i: 1.7ルクス(LOW LUX モード オン時) 50i: 1.7ルクス(LOW LUX モード オン時)

主な仕様(つづき)

シャッタースピード

60iのとき:
1/8秒 ~ 1/10,000秒(24p撮
影時は1/6秒 ~ 1/10,000秒)

50iのとき:
1/6秒 ~ 1/10,000秒

スロー&クイックモーション

1080pフレームレート切り
換え可能

ゲイン -3、0、3、6、9、12、15、18、
21、24、27、30、33 dB、AGC

ガンマカーブ

切り換え可能

内蔵NDフィルター

OFF: CLEAR
1: 1/4ND
2: 1/16ND
3: 1/64ND

レンズ

レンズマウント

固定式

ズーム比 12倍(optical)、servo

焦点距離 9.3~111.6mm
(35 mm換算(16:9)29.0~
348.0mm)
(35 mm換算(4:3)35.5~
426.0mm)

絞り F2.8~F4.5(自動/手動切り
換え可能)

フォーカス範囲

自動/手動切り換え可能
10 mm~∞(広角端)
1000 mm~∞(望遠端)

手ぶれ補正 On/Off可能、シフトレンズ方
式

フィルター径

M62 mm

入/出力端子

VIDEO OUT端子

BNC型(x1)、Composite
1.0 Vp-p、75 Ω

AUDIO OUT端子

ピンジャック

HDMI OUT端子

Type A(x1)

USB端子 マルチ/マイクロUSB端子
(x1)

Ⓜ(ヘッドホン)端子

ステレオミニジャック
(φ3.5mm)(x1)

INPUT1/INPUT2端子

XLR-type 3-pin(female)
(x2)、line/mic/mic +48 V切
り換え可能

DC入力 DC IN端子

リモート端子

ステレオミニミニジャック
(φ2.5mm)(x1)

マルチインターフェースシュー(x1)

画面

液晶モニター

8.8 cm(3.5型)
約1.56Mドット

ファインダー

0.6 cm(0.24型)
約1.56Mドット

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデ
ンサーマイク

ACアダプターAC-L100C

電源 AC 100 V - 240 V、50 Hz/
60 Hz

消費電力 18W

定格出力 DC 8.4 V*

動作温度 0°C~40°C

保存温度 -20℃～+60℃
外形寸法 約48mm×29mm×81mm
(最大突起部をのぞく)(幅×
高さ×奥行き)

質量(本体のみ)
約180g

* その他の仕様は、ラベルをご覧ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

アイリス	36
アイリスリング	36
アフターサービス	114
インフォリチウムバッテリー	107
大型アイカップ	24
屋外	39
屋内	39
主な仕様	111
音量	60

カ行

海外で使う	103
顔認識	33
拡大フォーカス	32
画面表示	13, 61
画面表示出力	86
管理ファイル	69
記録時間	101
警告表示	98
ゲイン	37
結露	108
広角	31
故障かな?と思ったら	91
コンセント	20

サ行

再生	58
削除	67
撮影	27
撮影枚数	101
自己診断表示	98
シャッタースピード	37
充電時間	20
出力解像度	64
準備	18
商標	118
初期化	68
ズーム	31
ズームリング	31
ズームレバー	31

ステータスチェック	62
スロー&クイックモーション	53

接続

テレビに	63
------	----

タ行

データコード	61
テレビ	63
電源コード	19
動画	27
同時記録	30
ドロップフレーム	87

ナ行

内蔵充電式電池	109
---------	-----

ハ行

バッテリー	19
ハンドルズーム	31
ハンドルズームレバー	31
ハンドル録画ボタン	30
ピクチャープロファイル	45
日付時刻	14, 22
日付時刻合わせ	21
ファインダー	23
視度調整つまみ	23
フォーカス	32
フォーカスリング	32
付属品	18
プロテクト	66
分割	66
望遠	31
保証書	114
ボタン電池	12
ホワイトバランス	39

マ行

メニュー	70
一覧	72
AUDIO SET	81
CAMERA SET	75

DISPLAY SET	83
OTHERS	88
REC/OUT SET	79
TC/UB SET	87
メモリーカード	106
入れる/取り出す	25
"メモリースティック"	107

ラ行

ラストシーンレビュー	55
リチャージャブルバッテリーパック	19
リモコン	12, 90
リレー記録	29
レンズ	7, 109
録画	27
録画フォーマット	34
録画ボタン	30

A

ACアダプター	18, 19
AE SHIFT	76, 94
AGC LIMIT	75
AREA SET	89
ASPECT	84
ASSIGN BUTTON	56
AUDIO LEVEL DISPLAY	85
AUDIO LIMIT	81
AUDIO SETメニュー	81
AUTO BACK LIGHT	77
AUTO MODE SET	77
AVCHD AUDIO FORMAT	81

B

BEEP	90
BLACK GAMMA	46
BLACK LEVEL	46

C

CAMERA DATA DISPLAY	85
CAMERA PROFILE.....	88
CAMERA SETメニュー.....	75
CENTER	84
CHGランプ.....	19
CLOCK SET	21
COLOR BAR	78, 94
COLOR DEPTH	48
COLOR MODE.....	47
COLOR PHASE.....	48
CONVERSION LENS.....	77

D

D.EXTENDER	76
DATA CODE	86
DATE REC	89
DELETE	67
DETAIL	51
DF.....	87
DISPLAY OUTPUT.....	86
DISPLAY SETメニュー.....	83
DIVIDE.....	66
DOWN CONVERT TYPE	80
DV WIDE CONVERT.....	80
DV WIDE REC	79
DVモード.....	35

F

FACE DETECTION	33
FOCUS DISPLAY.....	85
FOCUS MAG RATIO	85
FREE RUN.....	87
FULL AUTO.....	43

G

GAMMA.....	46
GUIDEFRAAME	84

H

HDMI.....	79
HDMI REC CONTROL	80
HDMI TC OUTPUT	80
HISTOGRAM.....	83

I

INDOOR.....	39
InfoLITHIUMバッテリー	107
INITIALIZE.....	90
INPUT1 TRIM	82
INPUT1 WIND	82
INPUT2 TRIM	82
INPUT2 WIND	82
INT MIC SET	81

K

KNEE.....	47
-----------	----

L

LANGUAGE	89
LAST SCENE REVIEW	55
LCD BRIGHT.....	86
LOW LUX	44

M

MANU WB TEMP.....	39
MARKER	84, 94
MEDIA FORMAT.....	68
MIC+48V	40
N	
NDフィルター	38
NDF	87
NIGHTSHOT LIGHT	78

O

OPERATION TIME.....	90
OTHERSメニュー.....	88
OUTDOOR	39

P

PEAKING	83, 94
PICTURE PROFILE	78
PROTECT	66

R

REC BUTTON SET	30
REC FORMAT.....	34
REC LAMP	90
REC RUN	87
REC SET	79
REC/OUT SETメニュー	79
REMOTE CONTROL	12, 90
REPAIR IMAGE DB FILE	69

S

S&Q MOTION	53
SAFETY ZONE	84
SATURATION	48
SCENE SELECTION SET	43
SHUTTER DISPLAY	86
SIMUL/RELAY REC	30
STATUS CHECK	62, 88
STEADY SHOT	77
SUMMERTIME.....	89

T

TC FORMAT	87
TC MAKE	88
TC PRESET	52, 94
TC RUN.....	87
TC/UB DISPLAY	87
TC/UB SETメニュー.....	87
TONE	78

U

UB PRESET	52
UB TIME REC	88
USB CONNECT	90
USB LUN SET	90

V

VERSION DISPLAY	90
VF BRIGHT	86
VIDEO LIGHT	77
VIDEO OUT	79
VOLUME	81

W

WB OUTDOOR LEVEL	75
WB PRESET	75
WB SET	76
WB SHIFT	50
WB TEMP SET	76

X

XLR AGC LINK	82
XLR SET	81

Z

ZEBRA	83, 94
ZOOM DISPLAY	85
ZOOM SET	76

商標について

- “NXCAM” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “XAVC S HD” および **XAVC S** はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“Catalyst Browse” はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといえます)にエンコードすること。

(ii) AVC Video(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMass Storage接続し、「PMHOME」→「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

© 2015 Sony Corporation

Printed in China



4580783020